

江別市生涯活躍のまち形成に関する調査結果  
報告書

令和元年 9 月

株式会社北海道二十一世紀総合研究所

## 目 次

1. 調査の概要.....	1
2. 調査の結果.....	2
2.1 調査票の回収結果.....	2
2.2 回答者の属性.....	2
2.3 住居について.....	11
2.4 就労や社会活動等について.....	24
2.5 江別市の生涯活躍のまちづくりについて.....	40
〔自由回答〕.....	42
〔アンケート調査票〕.....	62

## 1. 調査の概要

江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進に当たり、江別版「生涯活躍のまち」構想について、総合的かつ効果的な推進のため、江別市生涯活躍のまち形成事業計画を、令和元年度に策定する予定です。

この調査は、「江別市生涯活躍のまち形成事業計画」の策定に向け、市民の皆様が生涯にわたって安心して生活できるまちづくりに向けて必要な取組などを検討するために実施するものです。

図表 1-1 調査の概要

対象者	住民基本台帳に登録されている 50～79 歳の江別市民の中から、性別、年齢、居住地域で偏りがないように配慮し、2,000 人を無作為に抽出
調査方法	郵送により発送・回収
調査期間	令和元年 7 月 23 日～令和元年 8 月 13 日

## 2. 調査の結果

### 2.1 調査票の回収結果

アンケート調査の回収数は790票、有効回収率は39.5%です。

図表 2-1-1 調査票の回収結果

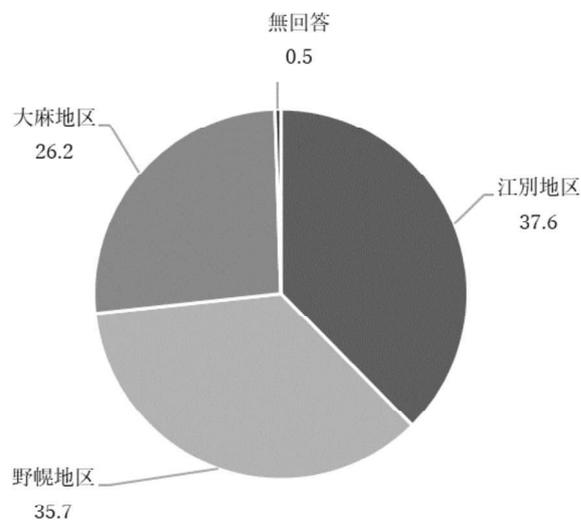
配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
2,000	790	790	39.5%

### 2.2 回答者の属性

#### (1) 地区別構成

回答者のお住いの地区については、江別地区の割合が37.6%、野幌地区が35.7%、大麻地区が26.2%となっています。

図表 2-2-1 お住いの地区区分 (N=790、単位:%)



なお、「江別地区」「野幌地区」「大麻地区」3地区それぞれに該当する町名等については、図表 2-2-2 の通りです。

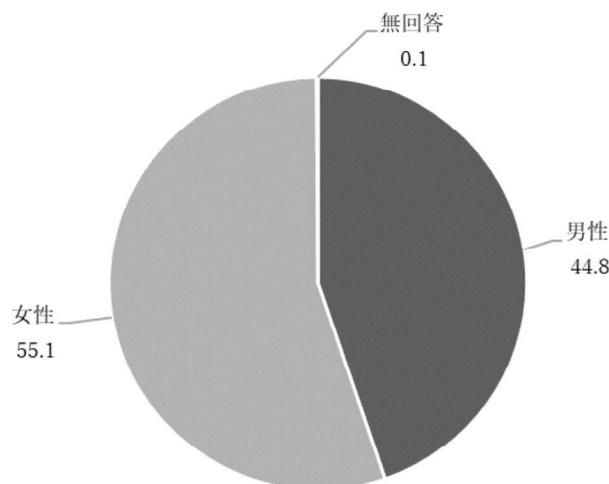
図表 2-2-2 3 地区に該当する町名等

地区	町名
江別地区	1条1丁目～8条8丁目、あけぼの町、朝日町、いずみ野、一番町、江別太、王子、大川通、角山、上江別、上江別西町、上江別東町、上江別南町、工栄町、篠津、高砂町、対雁、東光町、豊幌、豊幌花園町、豊幌はみんぐ町、豊幌美咲町、中島、萩ヶ岡、牧場町、緑町東、緑町西、美原、見晴台、向ヶ丘、萌えぎ野中央、萌えぎ野西、萌えぎ野東、元江別、元江別本町、元町、八幡、弥生町、ゆめみ野東町、ゆめみ野南町、若草町
野幌地区	あさひが丘、幸町、新栄台、中央町、錦町、西野幌、野幌寿町、野幌末広町、野幌住吉町、野幌町、野幌屯田町、野幌東町、野幌松並町、野幌美幸町、野幌代々木町、野幌若葉町、東野幌、東野幌町、東野幌本町、緑ヶ丘、元野幌
大麻地区	大麻、大麻泉町、大麻扇町、大麻北町、大麻栄町、大麻桜木町、大麻沢町、大麻新町、大麻園町、大麻高町、大麻中町、大麻西町、大麻晴美町、大麻東町、大麻ひかり町、大麻南樹町、大麻宮町、大麻元町、文京台、文京台東町、文京台緑町、文京台南町

(2) 性別構成

回答者の性別の割合については、女性が 55.1%、男性が 44.8%となっています。

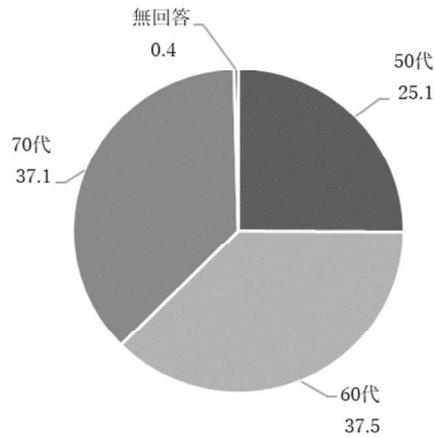
図表 2-2-3 性別構成 (N=790、単位:%)



(3) 年代別構成

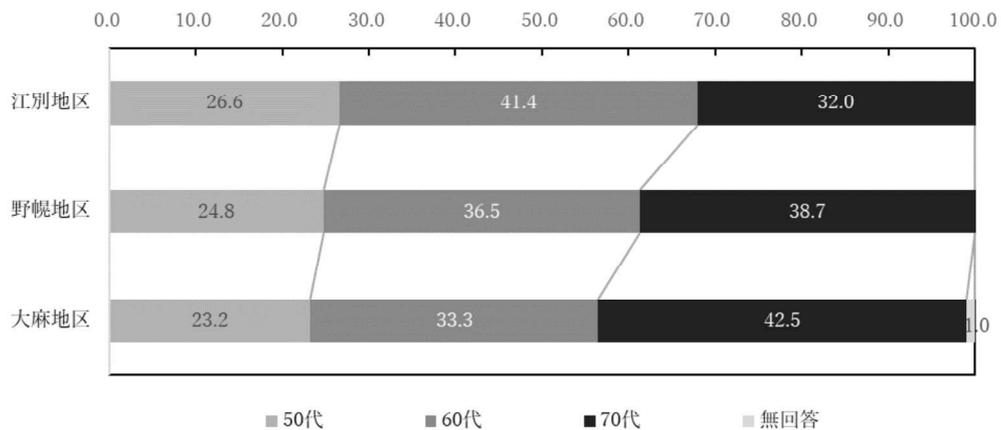
回答者の年齢については、60代の割合が37.5%と最も高く、次いで70代が37.1%、50代が25.1%となっています。

図表 2-2-4 年代別構成 (N=790、単位:%)



回答者の年齢について居住地区別にみると、「江別地区」では、60代の割合が41.4%となっており、他の地区より高くなっています。「大麻地区」では、70代の割合が42.5%となっており、他の地区より高くなっています。

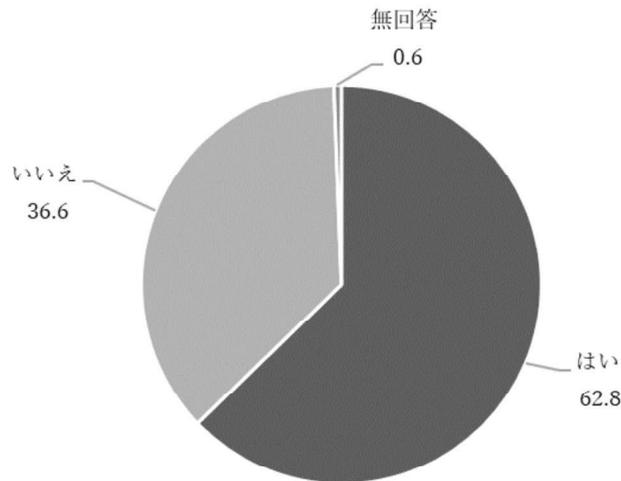
図表 2-2-5 年代別構成 (居住地区別)  
(N=786、単位:%)



(4) 世帯主別構成

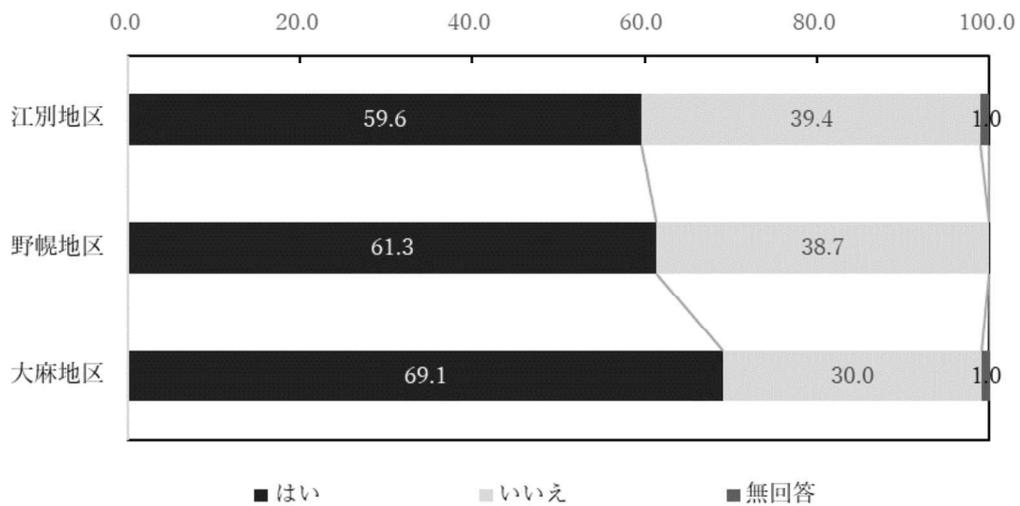
回答者が世帯主である割合が 62.8%、非世帯主が 36.6%となっています。

図表 2-2-6 世帯主別構成 (N=790、単位:%)



居住地区別にみると、「大麻地区」では、世帯主である割合が 69.1%と最も高く、他の地区と比べて高くなっています。

図表 2-2-7 世帯主別構成 (居住地区別)  
(N=786、単位:%)

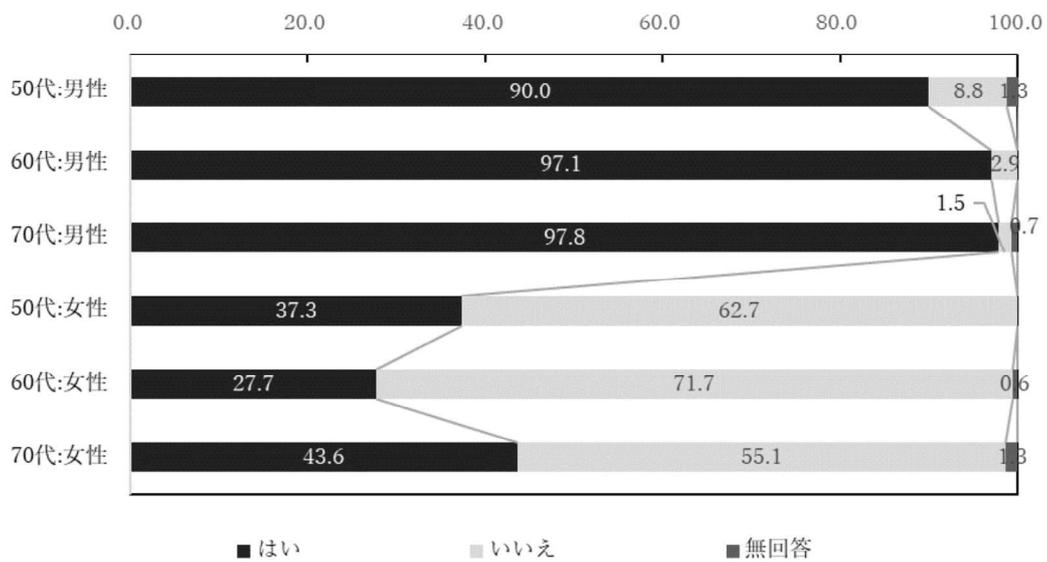


性別年代別にみると、全体的に男性は世帯主である割合が多くなっており、「70代:男性」では、世帯主である割合が97.8%と最も高くなっています。

「70代:女性」では、世帯主である割合が43.6%となっており、他の年齢層と比べて高くなっています。

「60代:女性」では、世帯である割合が27.7%となっており、他の性別年代層と比べて低くなっています。

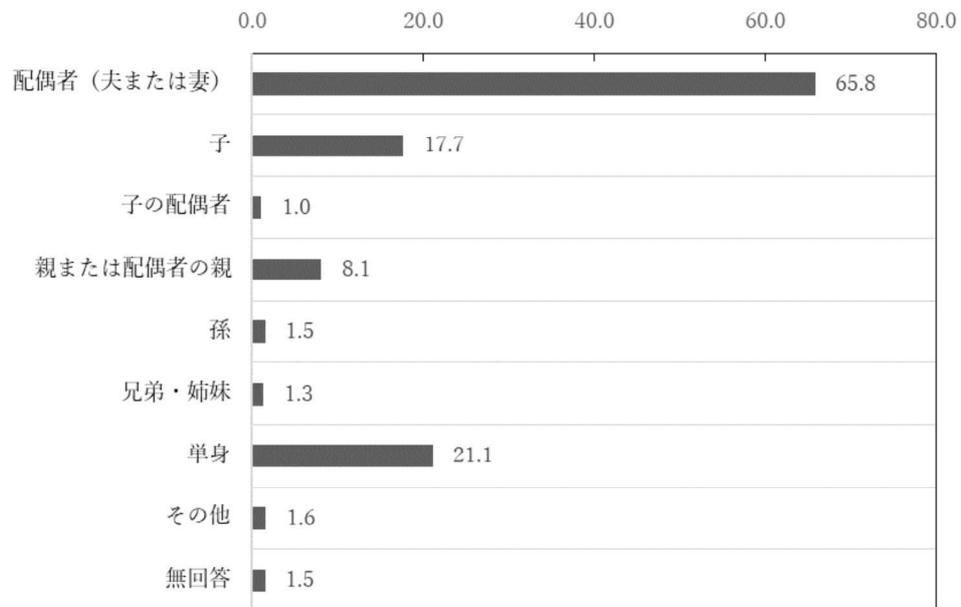
図表 2-2-8 世帯主別構成（性別年代別）



(5) 同居者別構成

同居者については、「配偶者（夫または妻）」の割合が65.8%と最も高く、次いで「単身」が21.1%、「子」が17.7%、「親または配偶者の親」が8.1%となっています。

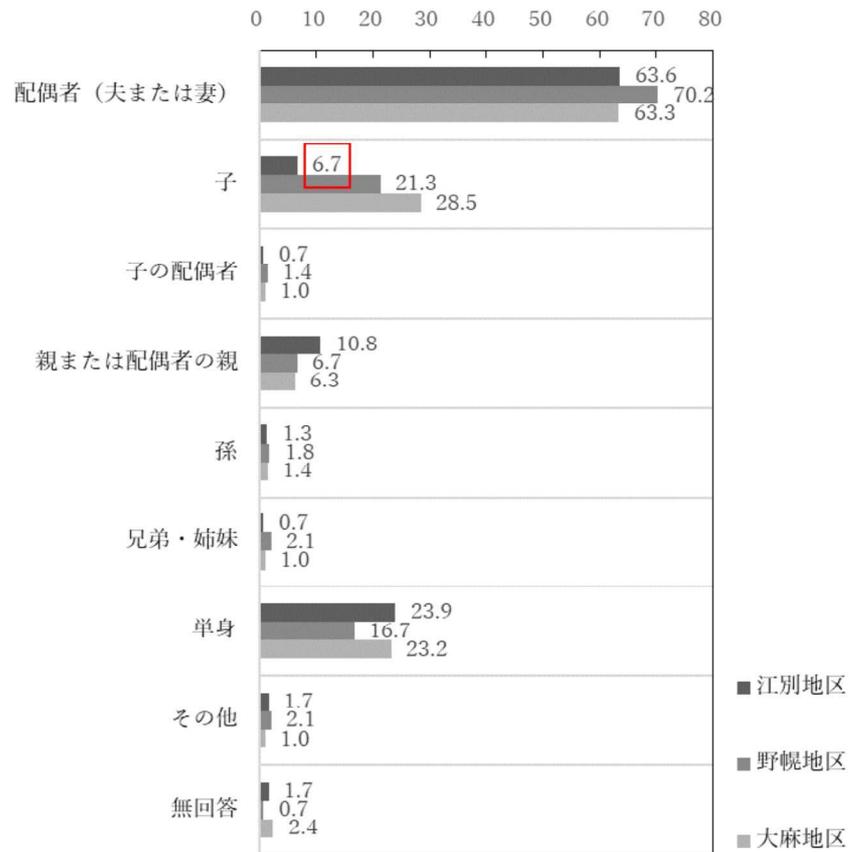
図表 2-2-9 同居者別構成（N=790、単位:%、複数回答）



同居者について居住地区別にみると、「江別地区」では、「子」の割合が6.7%となっており、他の地区と比べると低くなっています。

図表 2-2-10 同居者別構成（居住地区別）

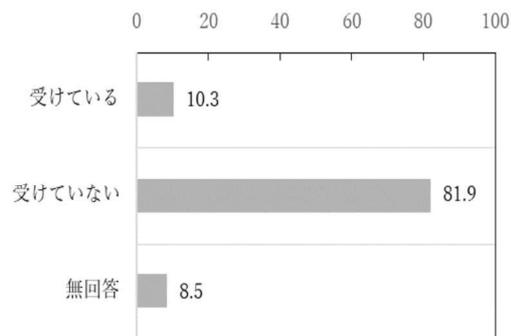
(N=786、単位:%、複数回答)



(6) 要介護認定別構成

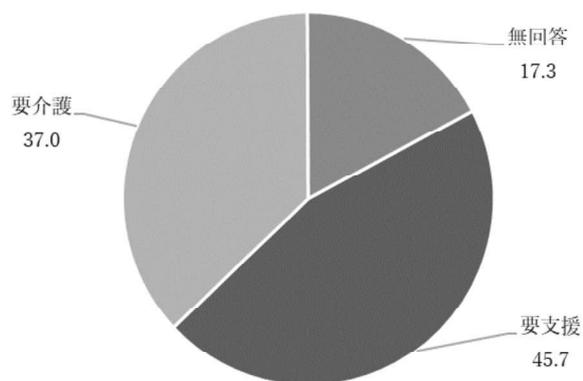
回答者及び同居者の要介護認定状況について全体からみると、「受けていない」の割合が81.9%、「受けている」<sup>1</sup>が10.3%となっています。

図表 2-2-11 要介護認定別構成 (N=790、複数回答)



要介護認定を受けている回答者及び同居者の要介護度については、「要支援」の割合が45.7%、「要介護」が37.0%となっています。

図表 2-2-12 介護度 (N=81、単位:%)



要介護認定を受けている回答者及び同居者の詳細についてみると、「父母」の割合が37.0%と最も高く、次いで「配偶者」が27.2%、「自分」が24.7%となっています。

介護度についてみると、「自分」、「兄弟・姉妹」、「その他」<sup>2</sup>は「要支援」の割合が7割程

<sup>1</sup> 「受けている」とは「自分」、「配偶者」、「父母」、「兄弟・姉妹」、「その他」の合計を指しています。

<sup>2</sup> 「その他」は計6件のうち、関連内容が2件、ともに「配偶者の親」と記入されています。

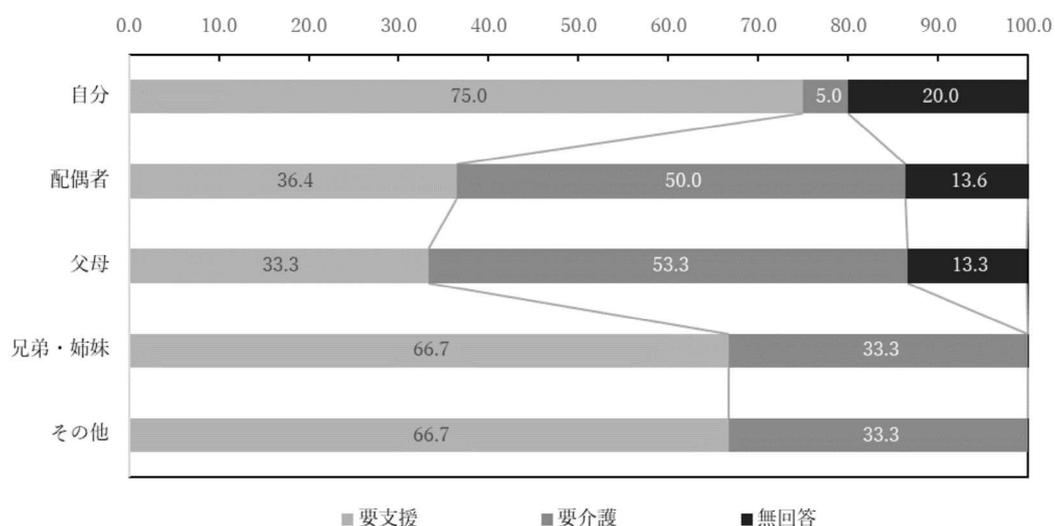
度となっているのに対して、「配偶者」、「父母」は「要介護」の割合が半分近くになっています。

図表 2-2-13 要介護認定者の構成

要介護認定者	自分	配偶者	父母	兄弟・姉妹	その他	計
人数(名)	20	22	30	3	6	81
割合	24.7%	27.2%	37.0%	3.7%	7.4%	100.0%

図表 2-2-14 要介護度

(N=81、単位:%)



要介護認定を受けている回答者及び同居者について居住地区別にみると、「江別地区」の割合が40.7%と最も高く、次いで「野幌地区」が30.9%、「大麻地区」が28.4%となっています。

図表 2-2-15 要介護認定者の構成(居住地区別)

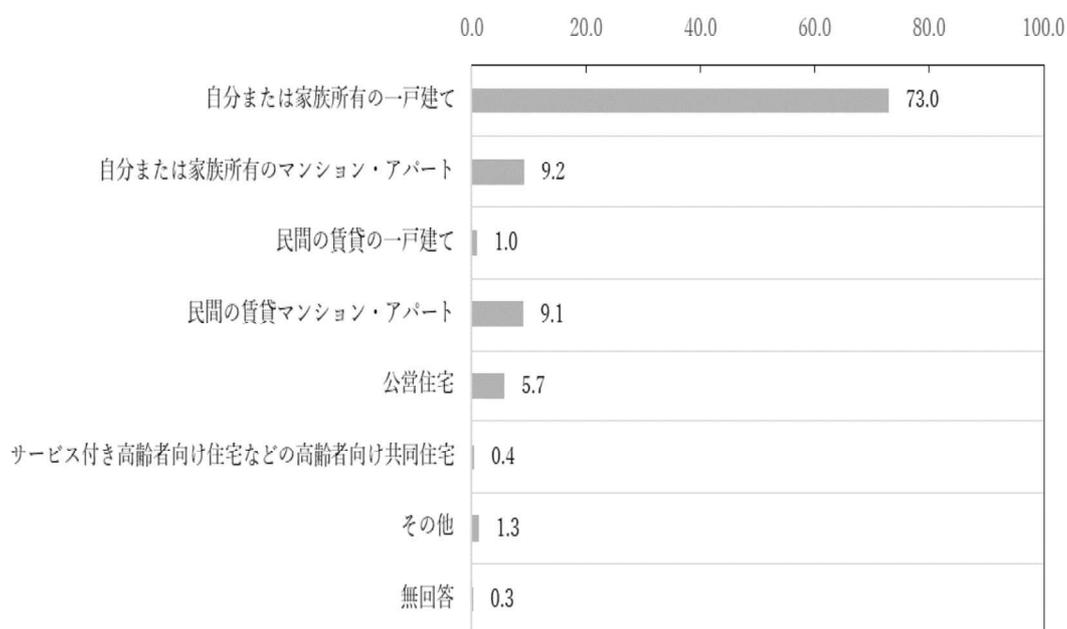
	自分	配偶者	父母	兄弟・姉妹	その他	計(名)	割合
江別地区	10	6	14	2	1	33	40.7%
野幌地区	4	10	9	1	1	25	30.9%
大麻地区	6	6	7	0	4	23	28.4%
合計	20	22	30	3	6	81	100%

## 2.3 住居について

### (1) 現在の住居形態

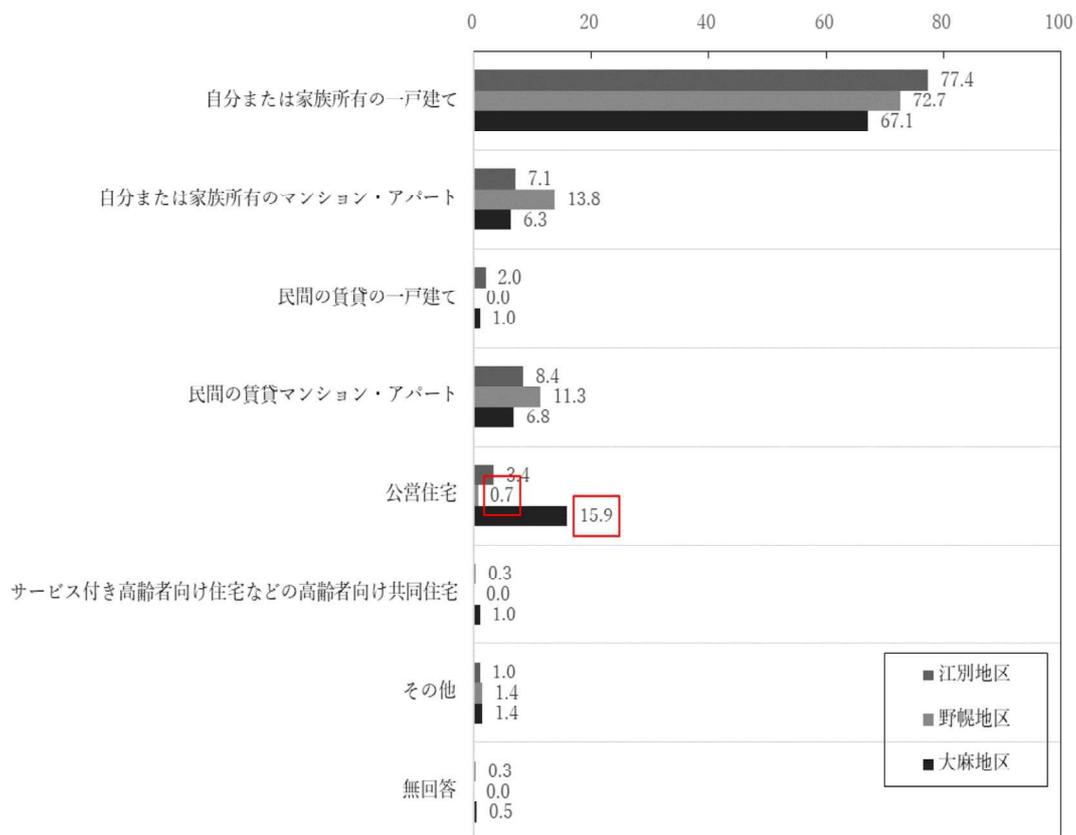
現在お住いの住居形態については、「自分または家族所有の一戸建て」の割合が73.0%と最も高く、次いで「自分または家族所有のマンション・アパート」が9.2%、「民間の賃貸マンション・アパート」が9.1%、「公営住宅」が5.7%となっています。

図表 2-3-1 現在の住居形態 (N=790、単位:%)



現在お住まいの住居形態について居住地区別にみると、「大麻地区」では、「公営住宅」の割合が15.9%となっているのに対して、「野幌地区」では0.7%となっています。

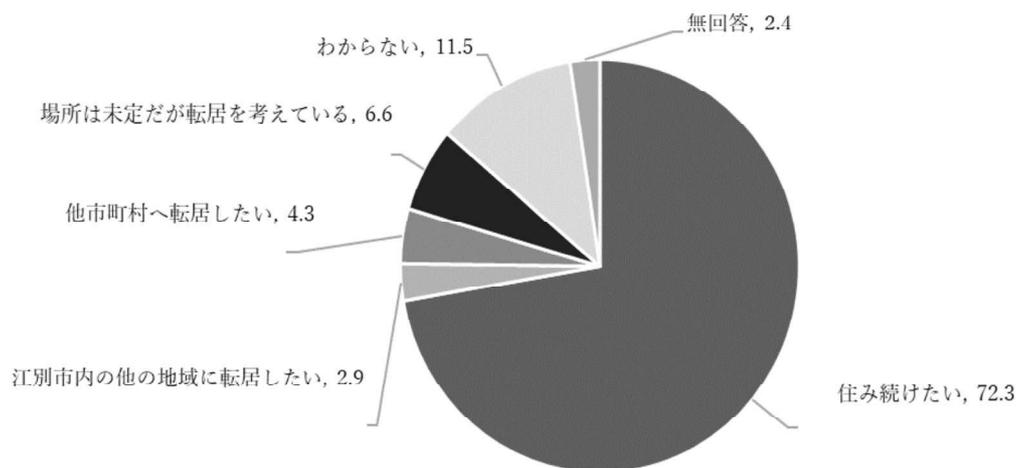
図表 2-3-2 現在の住居形態（居住地区別）  
（N=786、単位：%）



(2) 定住度について（今の住居に住み続けたいと思うか）

今の住居に住み続けたいかどうかについては、「住み続けたい」の割合が72.3%と最も高く、次いで「わからない」が11.5%、「場所は未定だが転居を考えている」が6.6%、「他市町村へ転居したい」<sup>3</sup>が4.3%、「江別市内の他の地域に転居したい」が2.9%となっています。

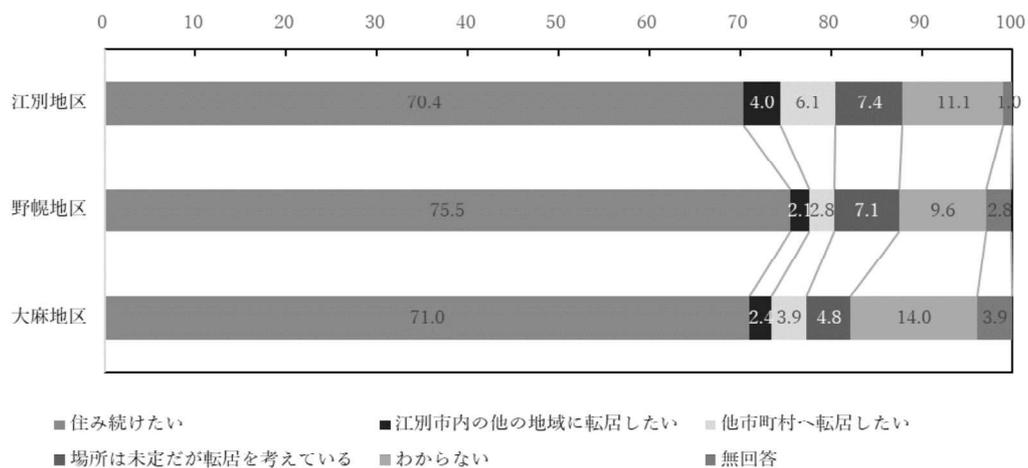
図表 2-3-3 現住居の継続意志（N=790、単位：%）



<sup>3</sup> 「他市町村へ転居したい」の詳細については、総計34件のうち、「札幌市」が21件、「石狩」が1件、「恵庭市」が1件、「帯広市」が1件、「旭川」が1件、「上ノ国」が1件、「(カンボジアの) シェムリアップ」が1件となっています。

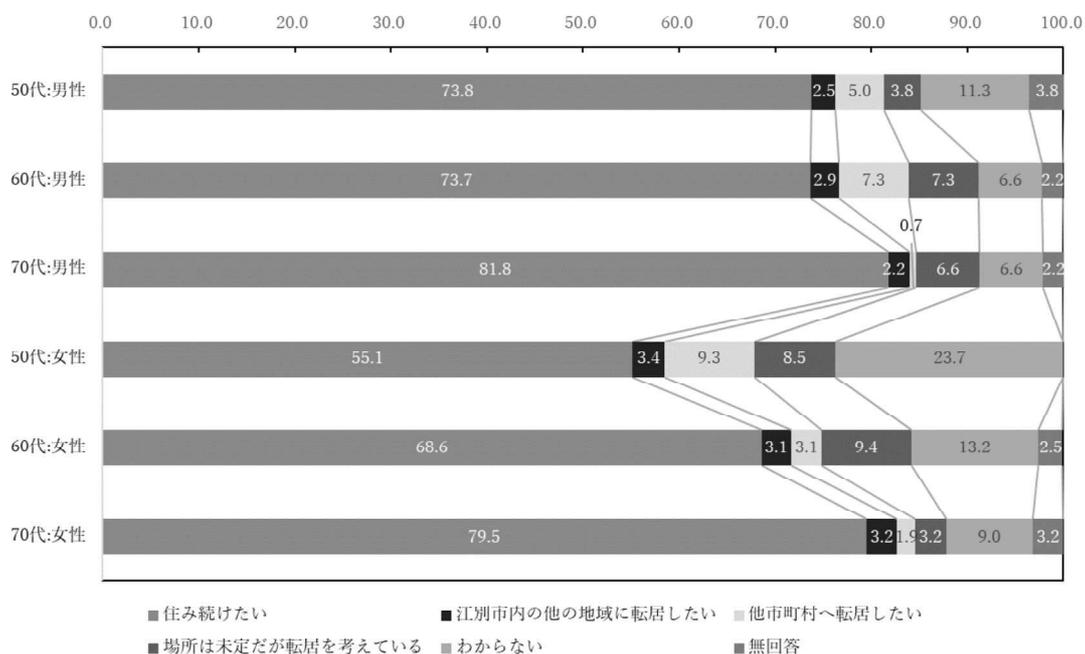
今の住居に住み続けたいかどうかについて居住地区別にみると、「野幌地区」では、「住み続けたい」の割合が75.5%となっており、他の地区と比べてやや高くなっています。

図表 2-3-4 現住居の継続意志（居住地区別）  
(N=786、単位:%)



今の住居に住み続けたいかどうかについて性別年代別にみると、各年代について女性は「住み続けたい」の割合が低くなっています。特に「50代:女性」では、「住み続けたい」の割合が55.1%と、他の性別・年代と比べて低く、「わからない」(23.7%)、「他市町村へ転居したい」(9.3%)の割合が高くなっています。

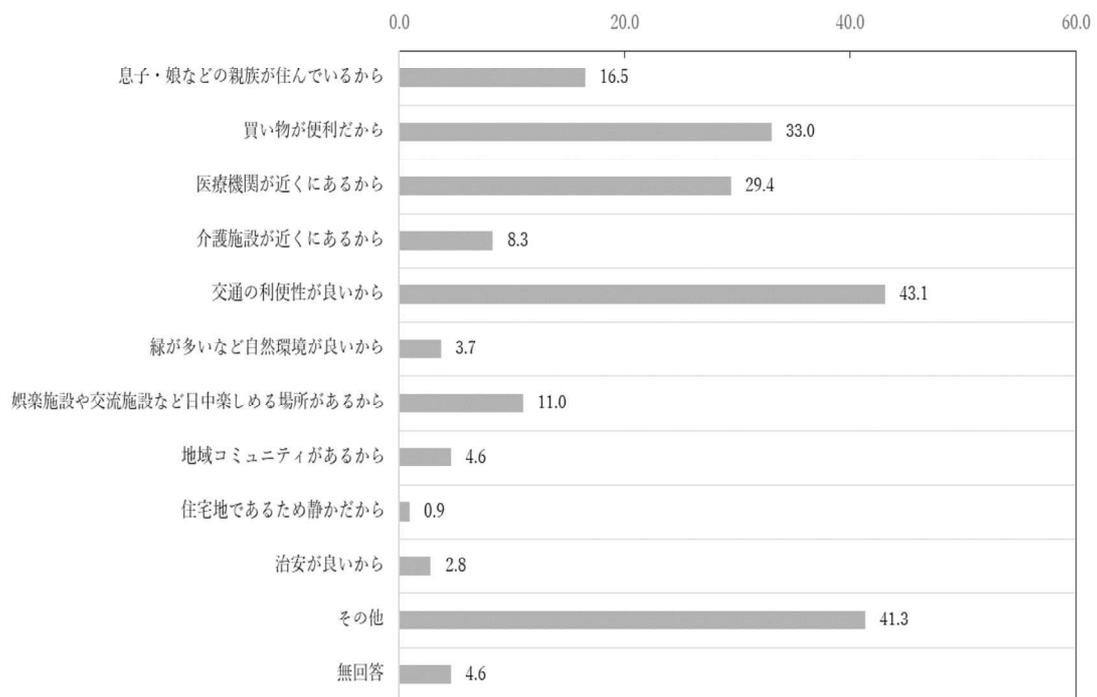
図表 2-3-5 現住居の継続意志（性別年代別）  
(N=787、単位:%)



### (3) 転居したい理由

今の住居以外に転居したい理由については、「交通の利便性が良いから」の割合が43.1%と最も高く、次いで「その他」が41.3%、「買い物が便利だから」が33.0%、「医療機関が近くにあるから」が29.4%、「息子・娘などの親族が住んでいるから」が16.5%となっています。

図表 2-3-6 転居したい理由 (N=109、単位:%、複数回答)



「その他」について、比較的多く見られる内容は「除雪の大変さ」(8件)、「高齢者向け住宅があること」(4件)、「水害の危険があること」(3件)、「道路や交通関連の問題」(3件)などがあります。詳細は図表 2-3-7 の通りです。

図表 2-3-7 転居したい理由（「その他」の内容）

番号	地区	内容
1	江別	江別より雪が少ないから
2	江別	雪かき、雑草取り、ゴミ問題
3	江別	1人で1軒家はきつい
4	江別	・石狩川、夕張川などの河川氾濫の危険の無い所に転居したい。 ・JR以外の交通手段も選べる場所に転居したい。
5	江別	ボランティア
6	江別	緊急医療の対応病院がないですよね。全て札幌に行かなければならぬ。大きな病院があるにもかかわらず対応出来ない市内の病院多すぎる。
7	江別	住宅が古いから
8	江別	家賃があまりかからない所に住みたいと思っています。
9	江別	病院を選べる（選択出来る）
10	江別	除雪が悪い
11	江別	高齢に向い、一戸建てが維持困難
12	江別	冬の除雪が必要ない
13	江別	年金だけでは、生活していけない。終活の為です
14	江別	過去に水害にあった地域なので
15	江別	除雪をしなくて良い所に住みたい
16	江別	高齢者向けの住宅に住みたい
17	江別	親の家に住む予定
18	江別	近くの道路が20年位悪いままなのと、道がカーブしてるから除雪車の雪がすごい量で、お向いは10cmくらいでもうちは1m。高齢になったら雪かき出来ない為
19	江別	水害の可能性が皆無ではない為
20	野幌	バリアフリーの住居に
21	野幌	介護付老人福祉施設のある所
22	野幌	古家付土地あるため（親からの相続）

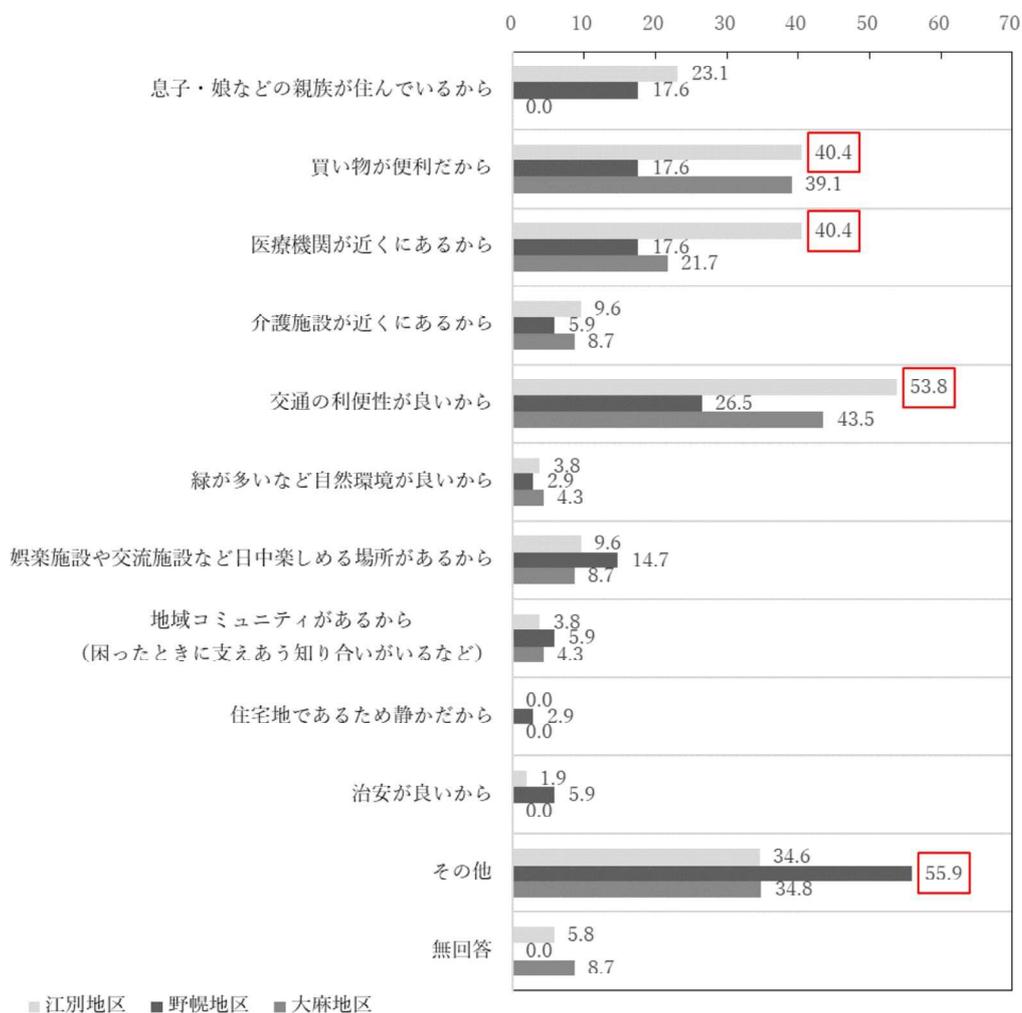
23	野幌	早朝勤務のためカラス問題でゴミ出しに困っているし、大雪のため間口除雪・排雪と2社に依頼しており経済的負担が大。町内ロータリーにお金は払ってますがいつもスドリー状態。個人的にお金かけ過ぎます。冬は他社が機械で押しつけていえる！自分のための空地なのに！
24	野幌	経済的事情
25	野幌	親の家が空家になっているため
26	野幌	子どもの学校に近い地域を検討中
27	野幌	親の介護の為
28	野幌	札幌出身、介護施設等江別より選択肢が多いから。
29	野幌	自分が好きな地で暮らしたい。江別市は水道代が高いですね。
30	野幌	家が古く、修理を要する所が多々ある。
31	野幌	施設入居
32	野幌	将来、老朽化で一戸建の管理出来なくなったり、運転免許を返納した時、現在地では不便になる為
33	野幌	家のまわりの除雪が大変なので
34	野幌	今住んでいる一戸建が広すぎるから
35	野幌	今2階ですが、1階の部屋に足がわるいので
36	大麻	今後家の維持困難になると思うので。
37	大麻	海の近くの所
38	大麻	持家があるため
39	大麻	交通費の援助がある
40	大麻	江別市は高齢者にやさしくない所なので、他の市町村へ
41	大麻	中古住宅を探した結果
42	大麻	元々住んでみたかった土地だから
43	大麻	家が古くなって来ていて单身では今の家は広い為
44	大麻	ゴミの分別種類が多い

今の住居以外に転居したい理由について居住地区別にみると、「江別地区」では、「交通の利便性が良いから」の割合が53.8%、「買い物が便利だから」、「医療機関が近くにあるから」がそれぞれ40.4%となっており、他の地区と比べて高くなっています。

「野幌地区」では、「その他」の割合が55.9%となっており、他の地区と比べて高くなっています。その詳細を見ると、計16件<sup>4</sup>のうち、「高齢者向け住宅があること」（4件）、「家の老朽化問題」（2件）、「除雪の大変さ」（2件）、「親からの存続」（2件）などがあります。

図表 2-3-8 転居したい理由（居住地区別）

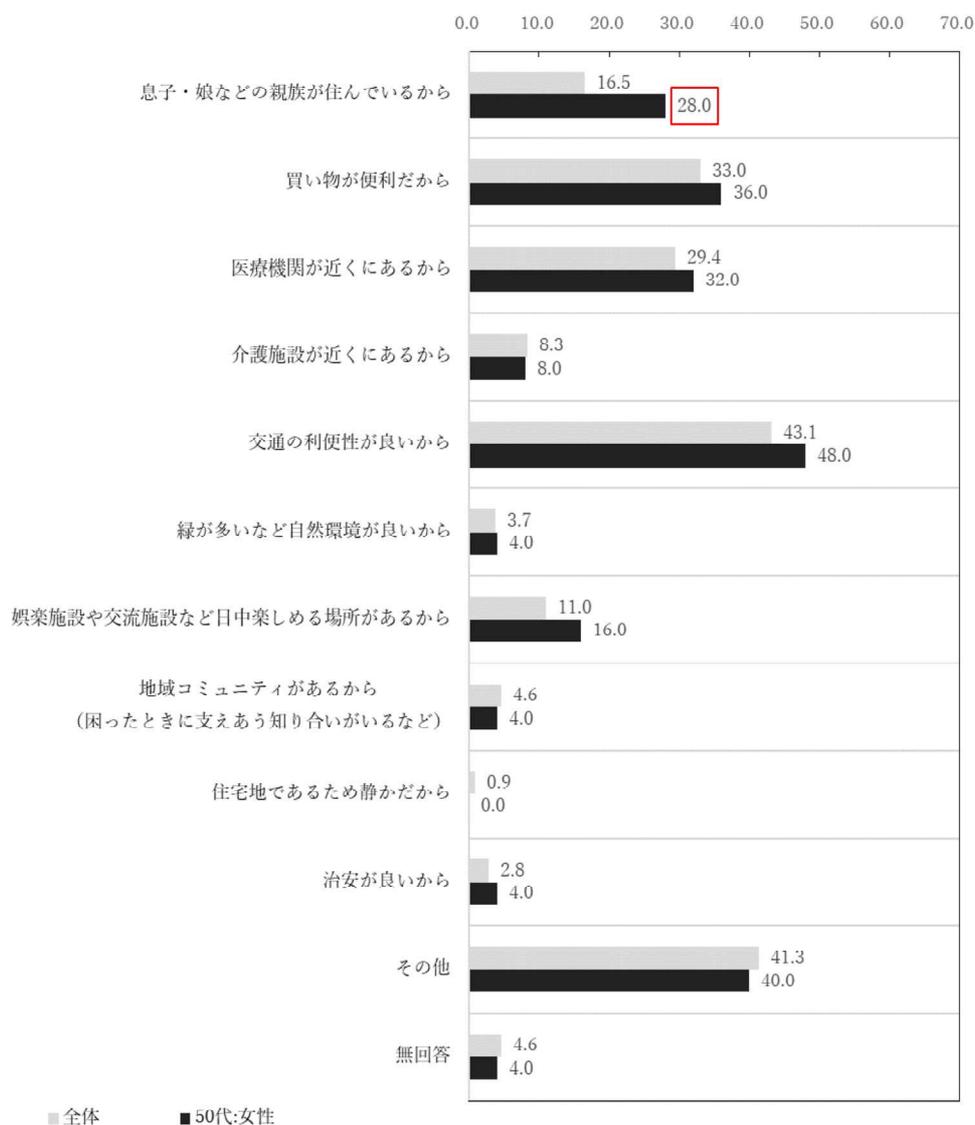
（N=109、単位:%、複数回答）



<sup>4</sup> 「野幌地区」では、「その他」の回答が計19件、そのうち無回答が3件あります。

今の住居以外に転居したい理由について、現在の住居に住み続ける意思の最も低い「50代:女性」に限定してみると、「交通の利便性が良いから」「その他」「買い物が便利だから」の割合が高いのは全体と比べて大きく変わりませんが、「息子・娘などの親族が住んでいるから」の割合が28.0%と全体と比べて高くなっています。

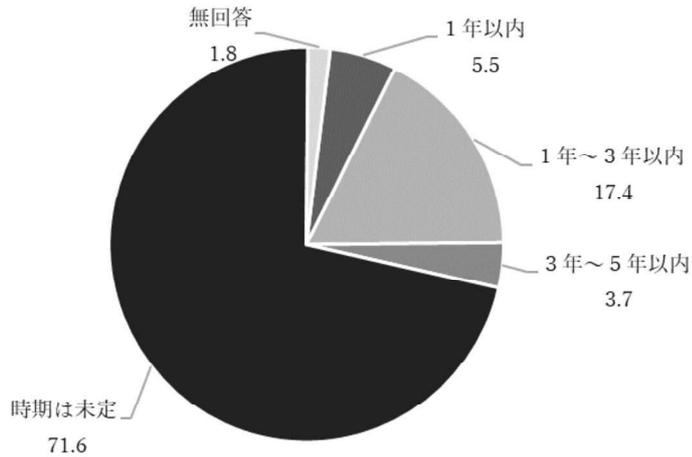
図表 2-3-9 転居したい理由（性別年代別）  
 (N=109、単位:%、複数回答)



(4) 転居時期

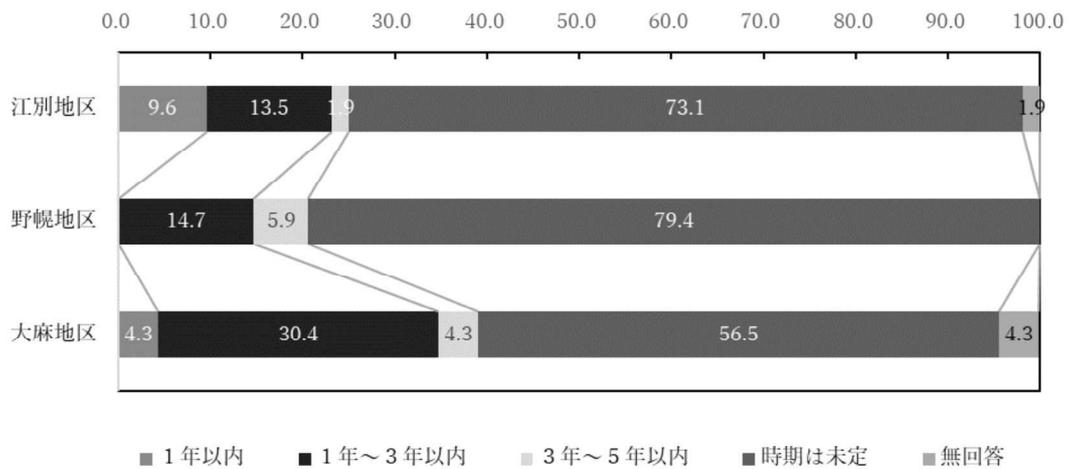
転居時期については、「時期は未定」の割合が71.6%と最も高く、次いで「1年～3年以内」が17.4%、「1年以内」が5.5%、「3年～5年以内」が3.7%となっています。

図表 2-3-10 転居時期 (N=109、単位:%)



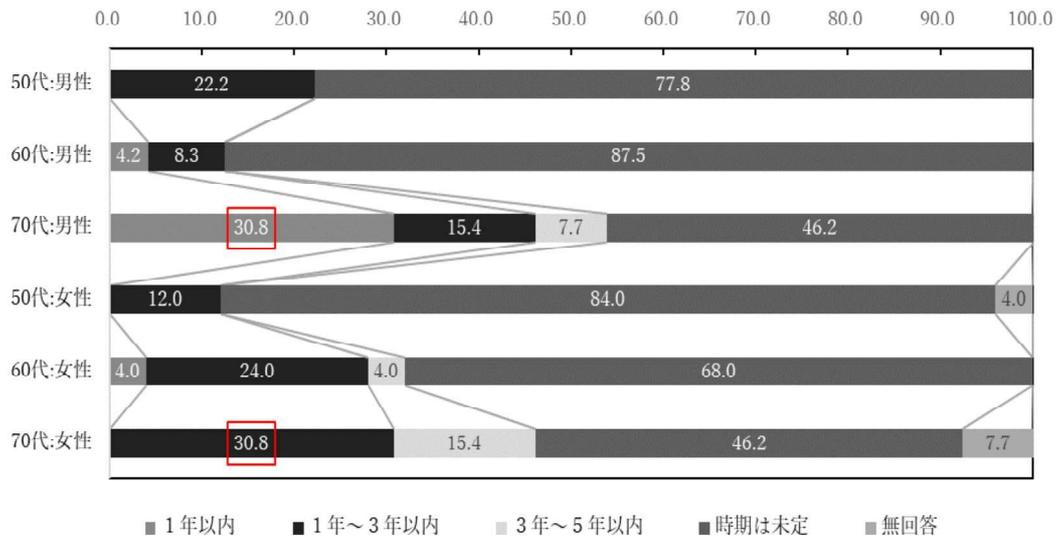
転居時期について居住地区別にみると、「大麻地区」では、「1～3年以内」の割合が30.4%となっており、他の地区と比べて高くなっています。「江別地区」では、「1年以内」の割合が9.6%となっており、他の地区と比べて高くなっています。「大麻地区」では、5年以内の割合が39.0%で他の地区より高くなっています。

図表 2-3-11 転居時期 (居住地区別)  
(N=109、単位:%)



転居の時期について性別年代別にみると、性別を問わず、50代と60代は全体の傾向と大きく変わりませんが、「70代男性」では「1年以内」の割合が30.8%、「70代女性」では「1年～3年以内」の割合が30.8%となっており、全体と比べて高くなっています。

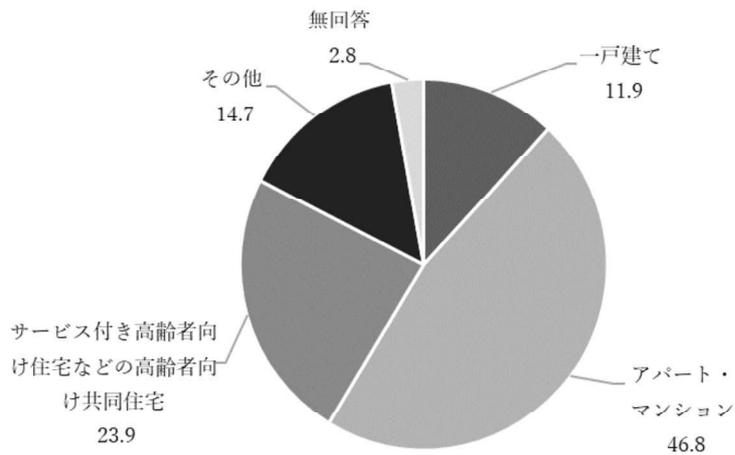
図表 2-3-12 転居時期（性別年代別）  
(N=109、単位:%)



(5) 転居後の住居形態

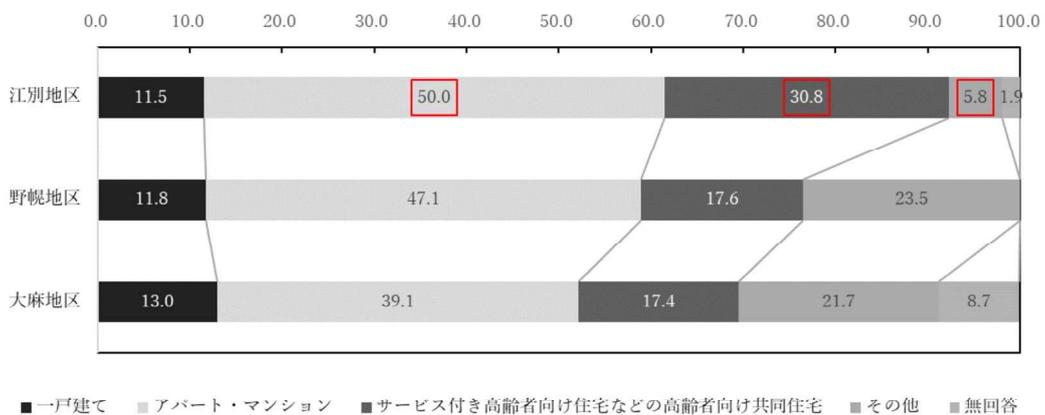
転居後の住居形態については、「アパート・マンション」の割合が46.8%と最も高く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け共同住宅」が23.9%、「その他」が14.7%、「一戸建て」が11.9%となっています。「その他」については、計16件のうち、「(道)市営住宅/公営住宅」が9件あります。

図表 2-3-13 転居後の住居形態 (N=109、単位:%)



転居後の住居形態について居住地区別にみると、「江別地区」では、「アパート・マンション」の割合が50.0%、「サービス付き高齢者向け住宅などの高齢者向け共同住宅」の割合が30.8%となっており、他の地区と比べて高くなっています。

図表 2-3-14 転居後の住居形態 (居住地区別)  
(N=109、単位:%)

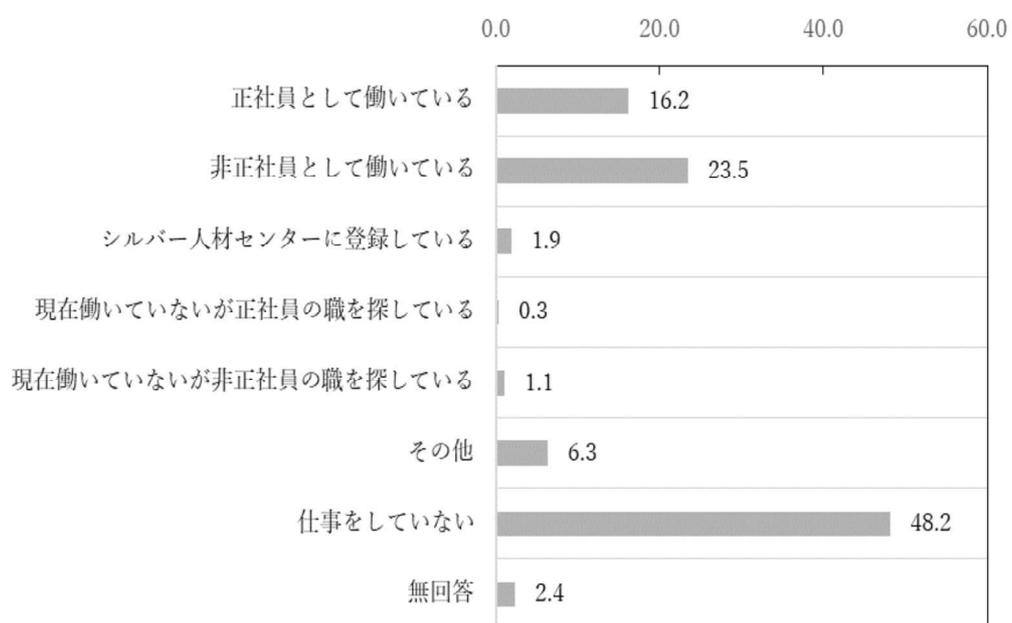


## 2.4 就労や社会活動等について

### (1) 現在の就労状況

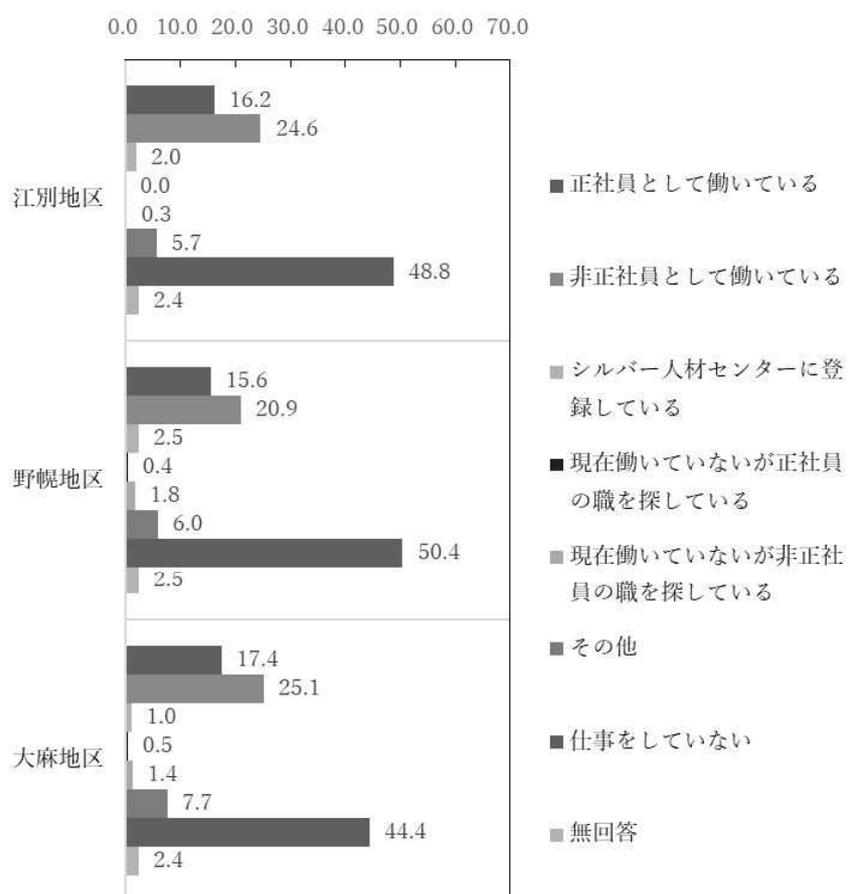
現在の就労状況については、「仕事をしていない」の割合が48.2%と最も高く、次いで「非正社員（契約社員、パート・アルバイトなど）として働いている」が23.5%、「正社員として働いている」が16.2%となっています。

図表 2-4-1 現在の就労状況（N=790、単位:%）



現在の就労状況について居住地区別にみると、「大麻地区」では、「正社員として働いている」の割合が17.4%、「非正社員（契約社員、パート・アルバイトなど）として働いている」が25.1%となっており、他の地区より高くなっています。「野幌地区」では、「仕事をしていない」の割合が50.4%となっており、他の地区と比べて高くなっています。

図表 2-4-2 現在の就労状況（居住地区別）  
(N=786、単位:%)

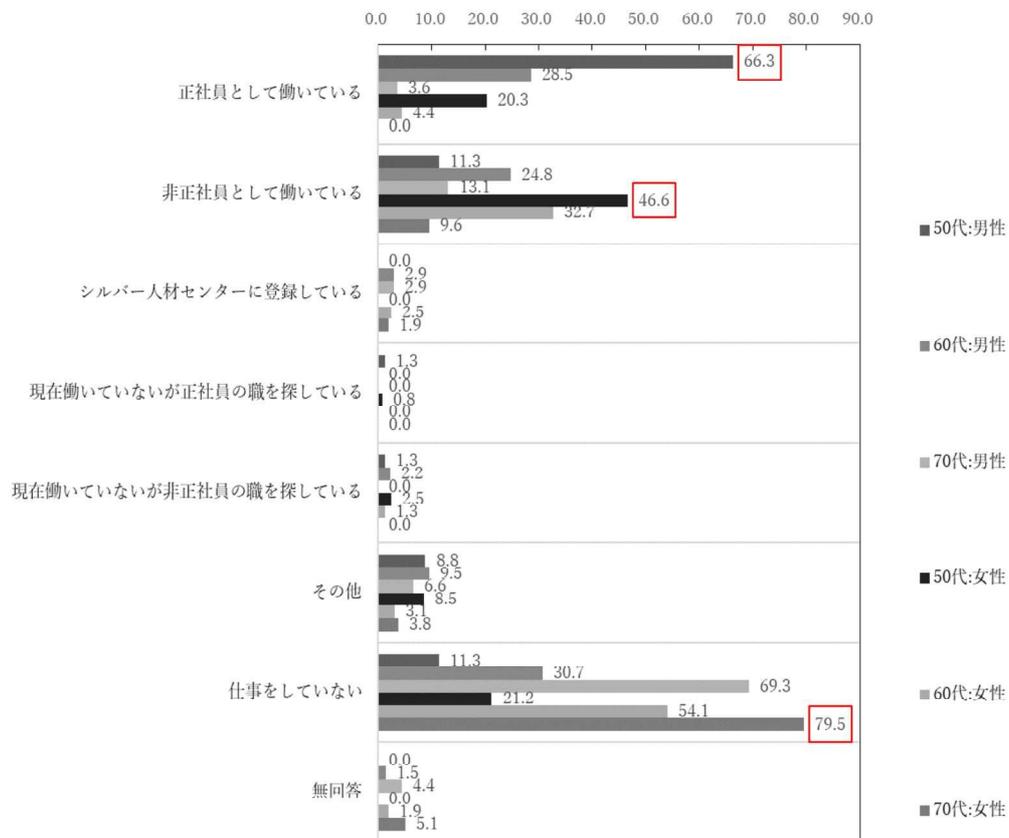


現在の就労状況について性別年代別にみると、「50代:男性」では、「正社員として働いている」の割合が66.3%となっており、他の性別年代層より高くなっています。

「50代女性」では、「非正社員（契約社員、パート・アルバイトなど）として働いている」の割合が46.6%となっており、他の性別年代層より高くなっています。

「70代:女性」では、「仕事をしていない」の割合が79.5%となっており、他の性別年代層より高くなっています。

図表 2-4-3 現在の就労状況（性別年代別）  
(N=787、単位:%)



(2) 地域での活動等への参加意欲

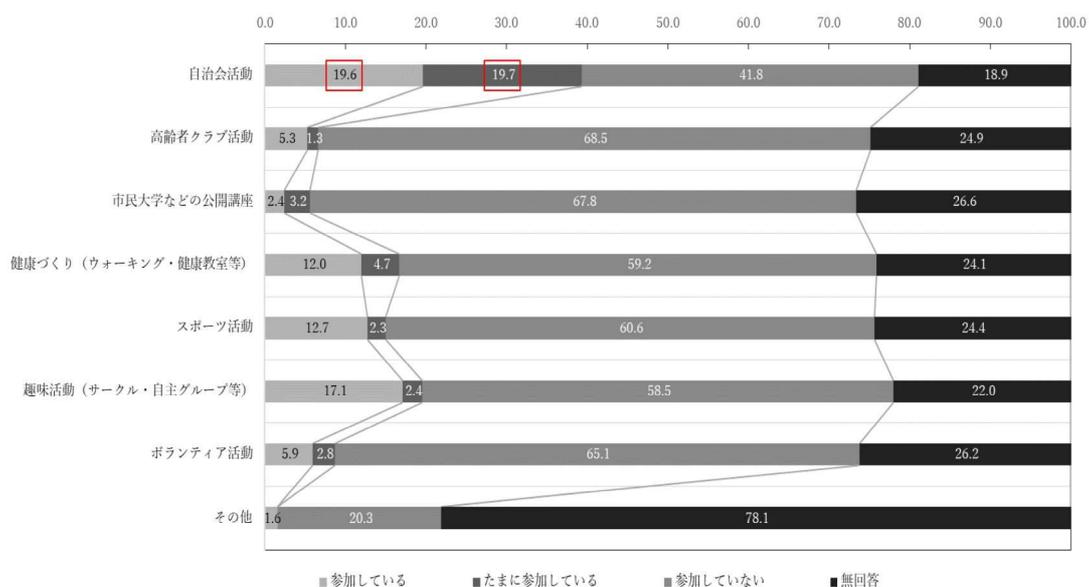
① 現在の参加状況

現在、地域での活動等への参加状況については、「参加している」「たまに参加している」よりも、全ての項目（その他を除き）において、「参加していない」の割合が高くなっています。

「参加している」については、「自治会活動」の割合が19.6%と最も高く、次いで「趣味活動（サークル・自主グループ等）」が17.1%、「スポーツ活動」が12.7%、「健康づくり（ウォーキング・健康教室等）」が12.0%、「ボランティア活動」が5.9%、「高齢者クラブ活動」が5.3%となっています。

「たまに参加している」は「自治会活動」の割合が19.7と最も高く、次いで「健康づくり（ウォーキング・健康教室等）」が4.7%となっています。

図表 2-4-4 地域活動等への現在の参加状況（N=790、単位:%）



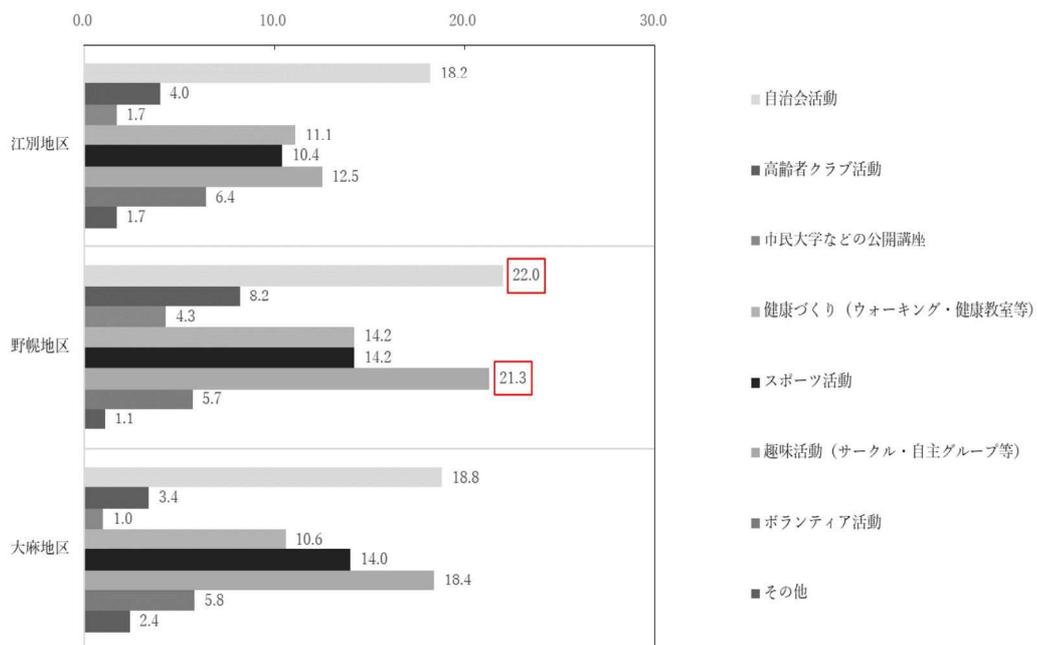
現在、地域での活動への参加について、「その他」は図表 2-4-5 の通りです。

図表 2-4-5 地域活動等への参加（「その他」の内容）

番号	内容
1	管理組合役員
2	カラオケ
3	スポーツ団体役員
4	マンション管理組合理事長
5	税理士会をとおしての税務支援
6	江別身障協会
7	理事会（マンション内）
8	退職後仕事していた仲間と毎月集まって手作ごちそう持ち寄り月 1 回集まって楽しく語らい（5 名）
9	シルバー人材センターでのボランティア活動
10	右片半身不随の為
11	カラオケ
12	歩くスキーの会（1～3 月）
13	孫の留守番、又は近く（友達宅）の草取
14	福祉会に入っている
15	1 週間に 2～3 回トレーニングに行っています
16	ゴルフ・ゲレンデスキー

現在、「参加している」地域での活動等を居住地区別にみると、「野幌地区」では「自治会活動」の割合が22.0%、「趣味活動（サークル・自主グループ等）」が21.3%となっており、他の地区と比べて高くなっています。

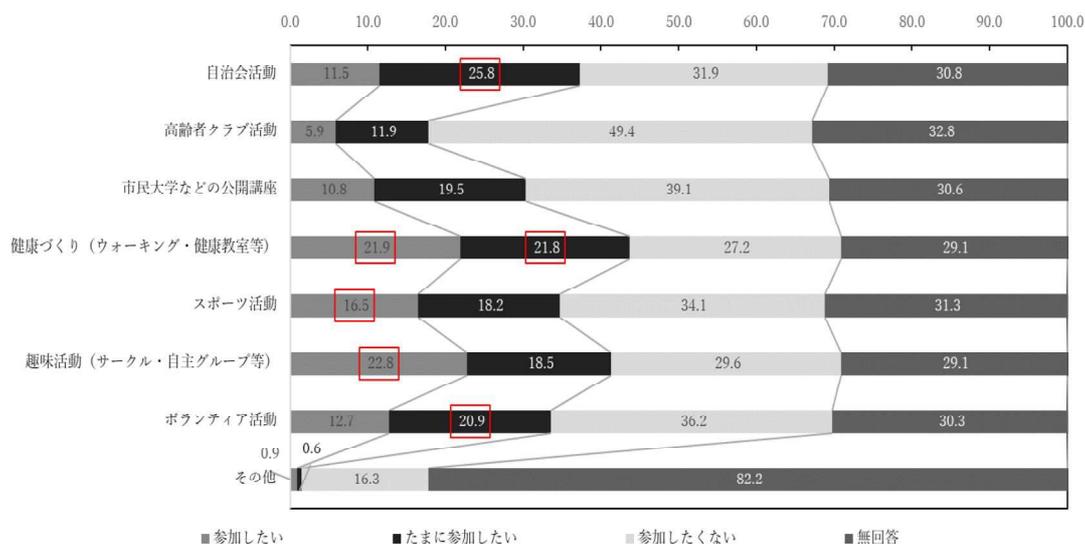
図表 2-4-6 地域活動等への現在の「参加している」状況（居住地区別）  
（N=786、単位：%）



② 今後の参加意向

今後の「参加したい」地域での活動等については、「趣味活動（サークル・自主グループ等）」の割合が22.8%と最も高く、次いで「健康づくり（ウォーキング・健康教室等）」が21.9%、「スポーツ活動」が16.5%となっています。「たまに参加したい」は「自治会活動」の割合が25.8%と最も高く、次いで「健康づくり（ウォーキング・健康教室等）」が21.8%、「ボランティア活動」が20.9%となっています。

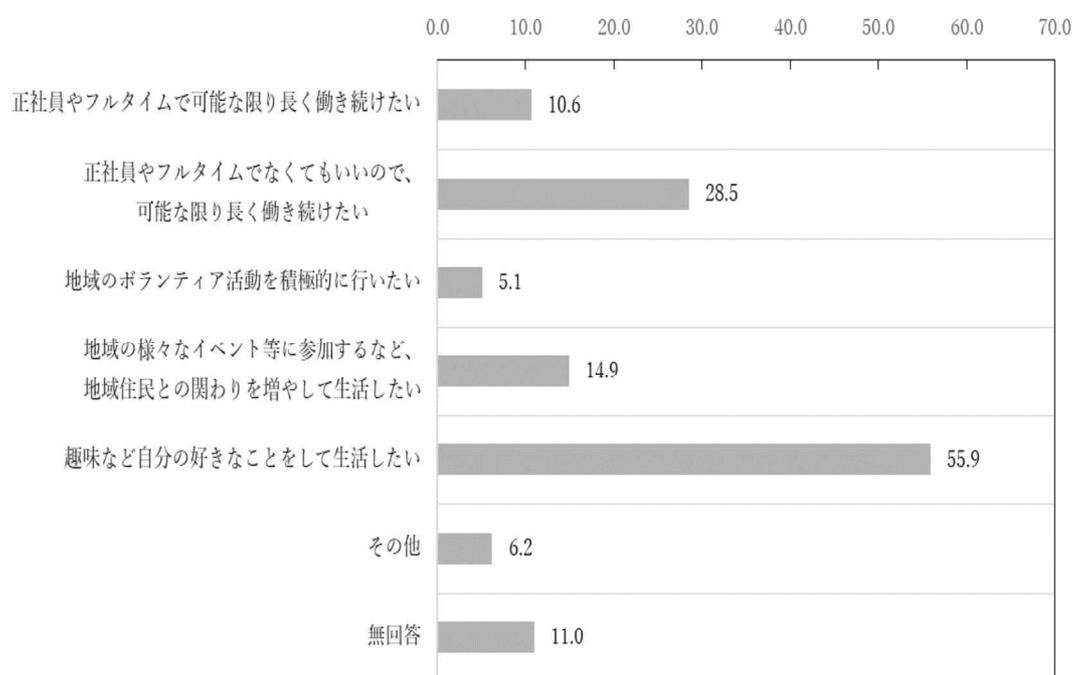
図表 2-4-7 地域活動等への今後の参加意向（N=790、単位:%）



### (3) 今後5年間の働き方と暮らし方

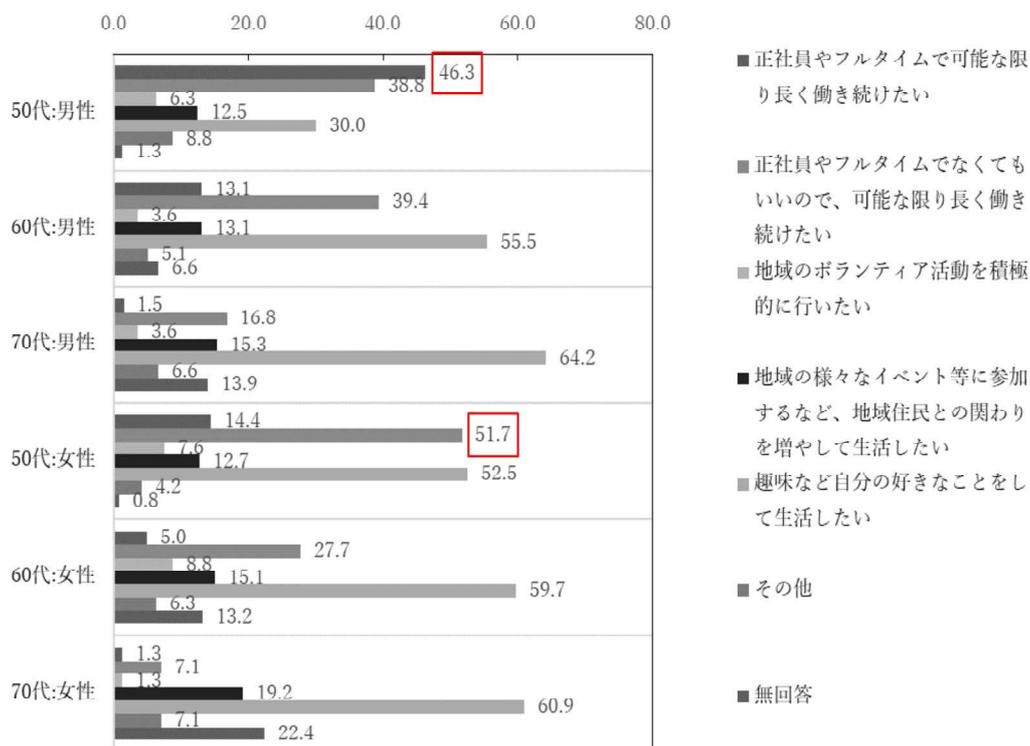
今後5年間（現在働いている方はリタイヤ後）の働き方、暮らし方については、「趣味など自分の好きなことをして生活したい」の割合が55.9%と最も高く、次いで「正社員やフルタイムでなくてもいいので、可能な限り長く働きたい」が28.5%、「地域の様々なイベント等に参加するなど、地域住民との関わりを増やして生活したい」が14.9%となっています。

図表 2-4-8 今後5年間の働き方と暮らし方（N=790、単位:%、複数回答）



今後5年間（現在働いている方はリタイヤ後）の働き方、暮らし方について性別年代別にみると、「50代:男性」では「正社員やフルタイムで可能な限り長く働き続けたい」の割合が46.3%、「50代:女性」では「正社員やフルタイムでなくてもいいので、可能な限り長く働き続けたい」が51.7%となっており、他の年齢層と比べて高くなっています。

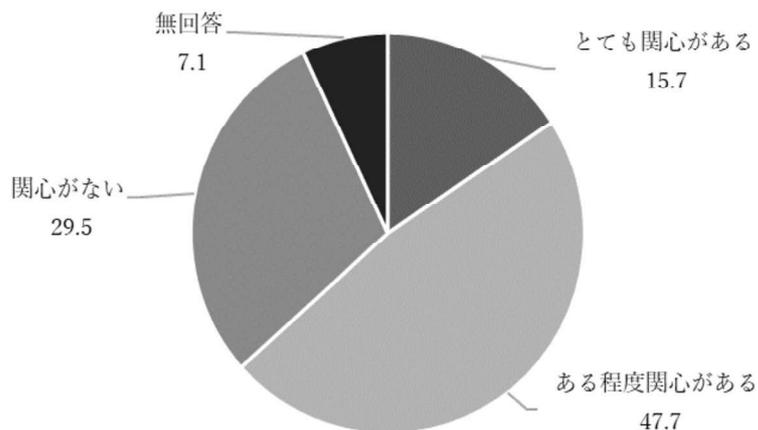
図表 2-4-9 今後5年間の働き方と暮らし方（性別年代別）  
（N=787、単位:%、複数回答）



(4) 「生きがい就労」への関心度

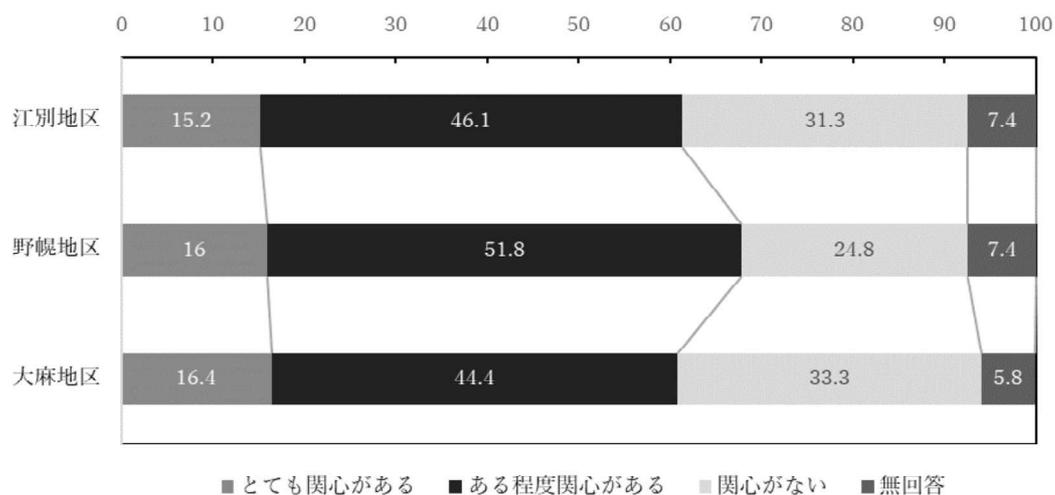
「生きがい就労」への関心度については、「ある程度関心がある」の割合が47.7%と最も高く、次いで「関心がない」が29.5%、「とても関心がある」が15.7%となっています。

図表 2-4-10 「生きがい就労」への関心度 (N=790、単位:%)



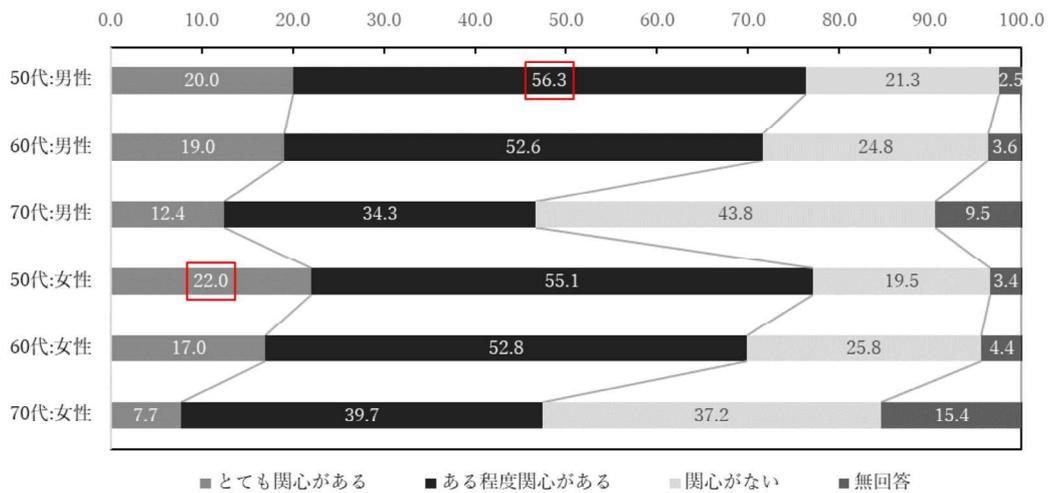
「生きがい就労」への関心度について居住地区別にみると、「野幌地区」では、「ある程度関心がある」の割合が51.8%となっており、他の地区と比べて高くなっています。

図表 2-4-11 「生きがい就労」への関心度 (居住地区別)  
(N=786、単位:%)



「生きがい就労」への関心度について性別年代別にみると、年齢が若くなればなるほど関心が強くなり、「50代:女性」では、「とても関心がある」の割合が22.0%となっており、他の性別年代層と比べて高くなっています。「50代:男性」では、「ある程度関心がある」の割合が56.3%となっており、他の性別年代層と比べて高くなっています。

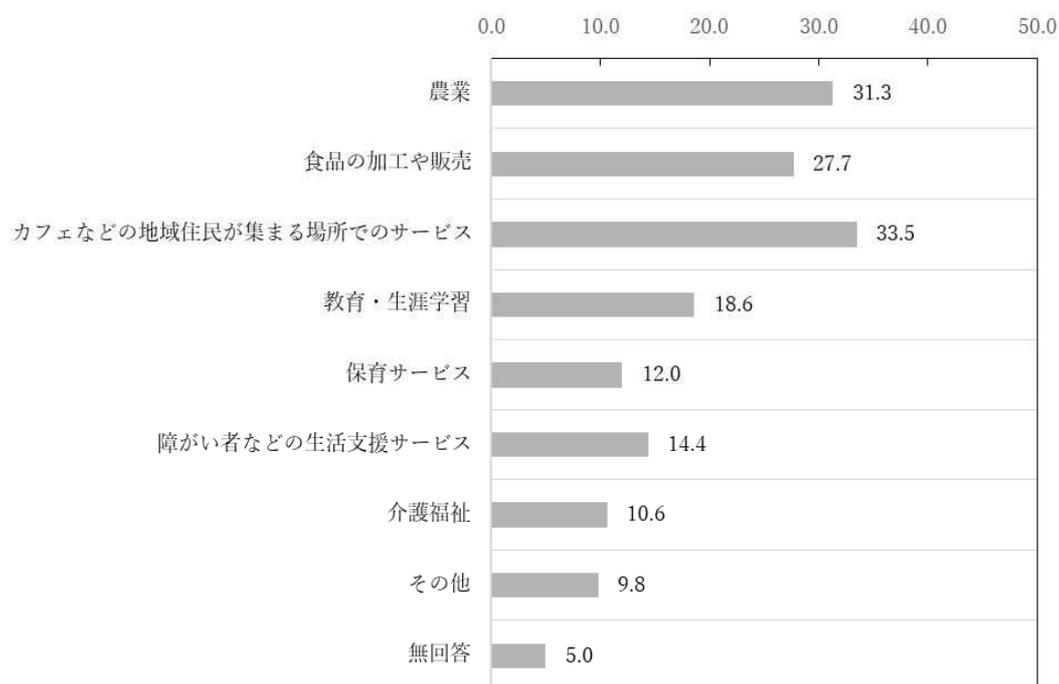
図表 2-4-12 「生きがい就労」への関心度（性別年代別）  
(N=787、単位:%)



(5) 「生きがい就労」への関心分野

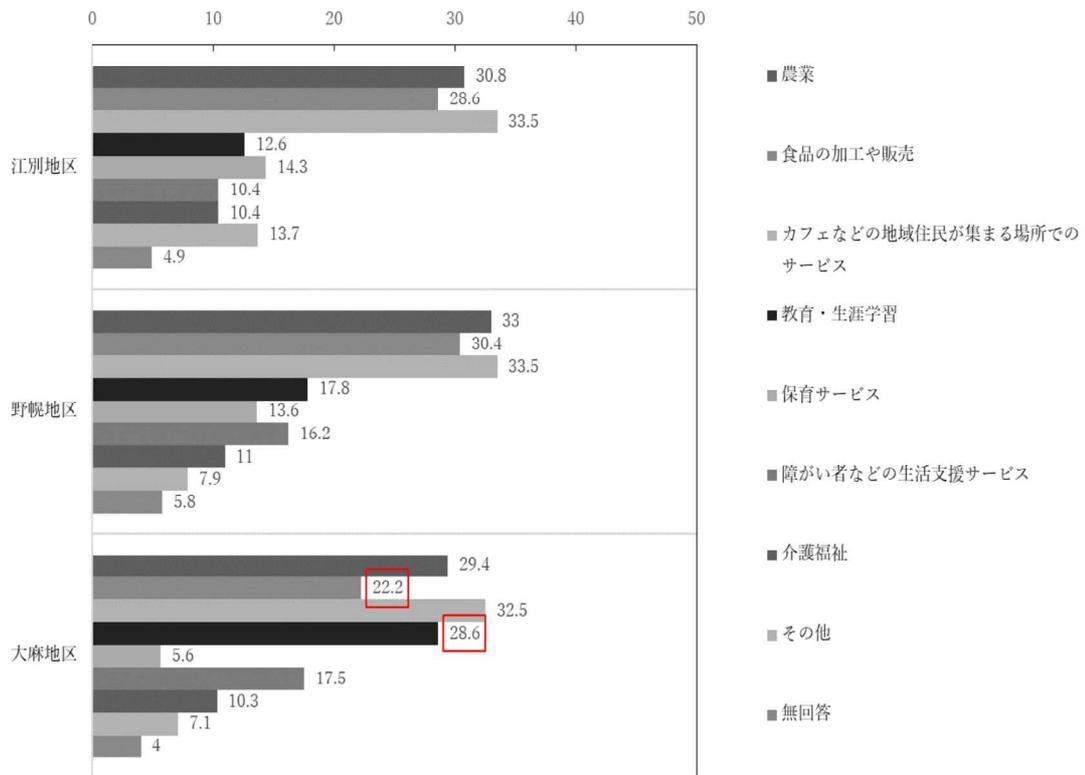
どのような分野の「生きがい就労」に関心があるかについては、「カフェなどの地域住民が集まる場所でのサービス」の割合が33.5%と最も高く、次いで「農業」が31.3%、「食品の加工や販売」が27.7%、「教育・生涯学習」が18.6%、「障がい者などの生活支援サービス」が14.4%、「保育サービス」が12.0%となっています。

図表 2-4-13 「生きがい就労」への関心分野（N=501、単位:%、複数回答）



どのような分野の「生きがい就労」に関心があるかについて居住地区別にみると、「大麻地区」では、「食品の加工や販売」の割合が22.2%となっており、他の地区と比べて低くなっているが、「教育・生涯学習」の割合が28.6%となっており、他の地区と比べて高くなっています。

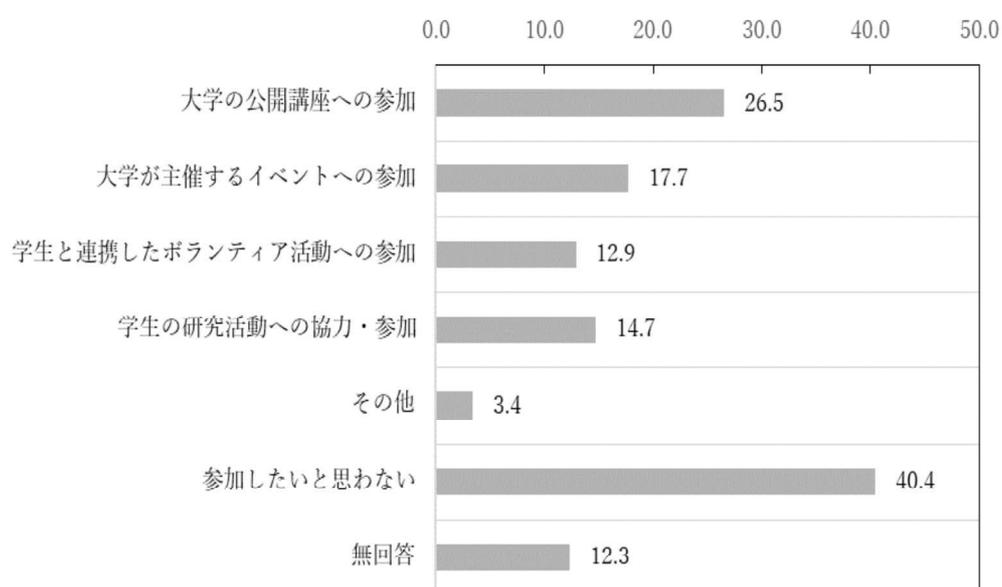
図表 2-4-14 「生きがい就労」への関心分野（居住地区別）  
 (N=499、単位:%、複数回答)



(6) 大学や学生との連携意欲

今後、江別市の4大学（酪農学園大学、北翔大学、札幌学院大学、北海道情報大学）や学生との連携した取組への参加については、「参加したいと思わない」の割合が40.4%と最も高く、次いで「大学の公開講座への参加」が26.5%、「大学が主催するイベントへの参加」が17.7%、「学生の研究活動への協力・参加」が14.7%、「学生と連携したボランティア活動への参加」が12.9%となっています。

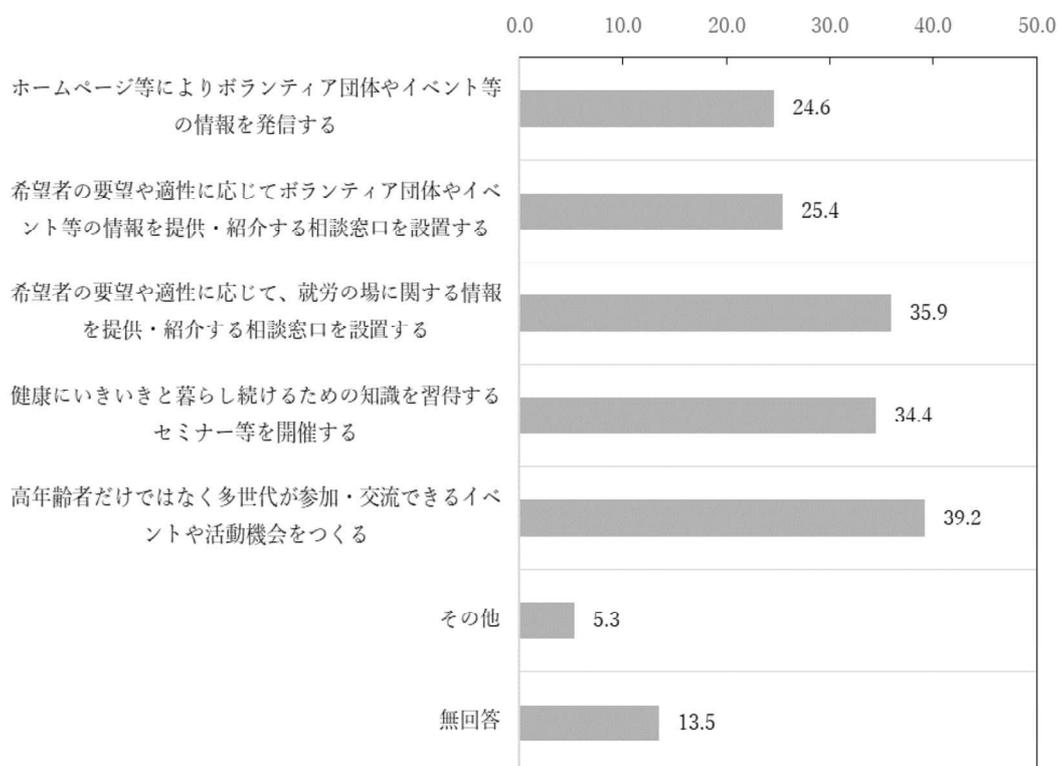
図表 2-4-15 大学や学生との連携意欲 (N=790、単位:%、複数回答)



(7) 期待される江別市の取組

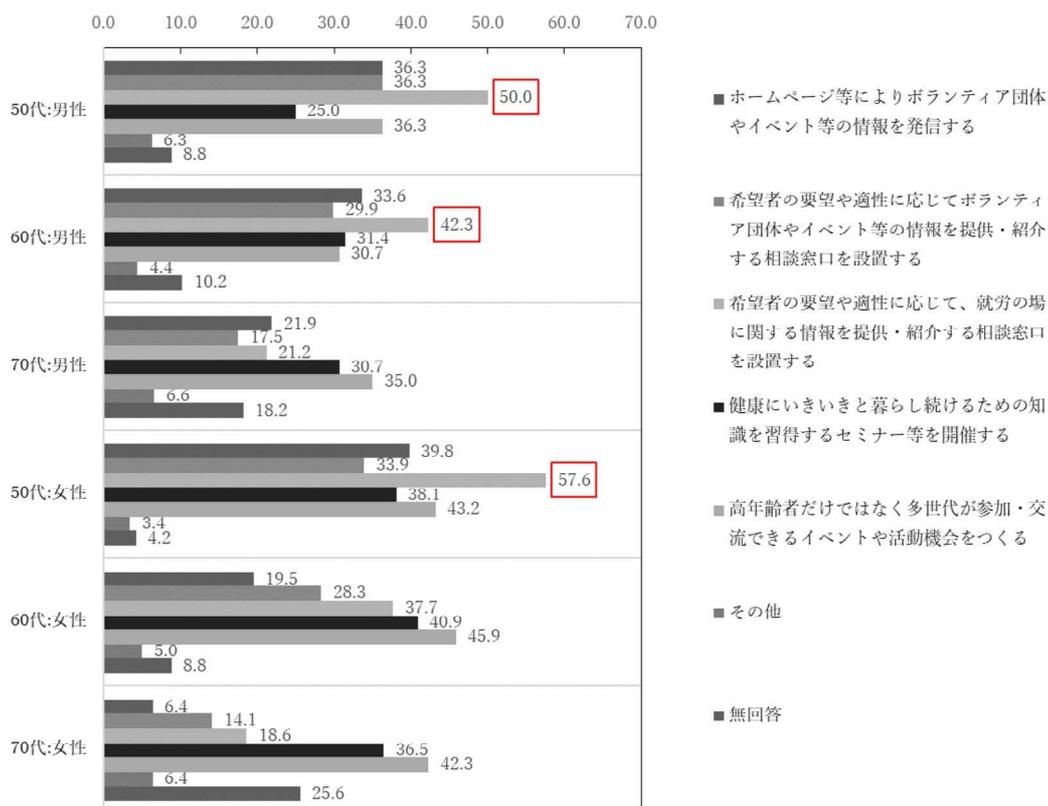
江別市において、今後どのような取組があったら就労や地域活動等に参加しやすくなるかについては、「高年齢者だけではなく多世代が参加・交流できるイベントや活動機会をつくる」の割合が39.2%と最も高く、次いで「希望者の要望や適性に応じて、就労の場に関する情報を提供・紹介する相談窓口を設置する」が35.9%、「健康にいきいきと暮らし続けるための知識を習得するセミナー等を開催する」が34.4%、「希望者の要望や適性に応じてボランティア団体やイベント等の情報を提供・紹介する相談窓口を設置する」が25.4%、「ホームページ等によりボランティア団体やイベント等の情報を発信する」が24.6%となっています。

図表 2-4-16 期待される江別市の取組 (N=790、単位:%、複数回答)



江別市において、今後どのような取組があったら就労や地域活動等に参加しやすくなるかについて性別年代別にみると、「50代:女性」、「50代:男性」、「60代:男性」では、「希望者の要望や適性に応じて、就労の場に関する情報を提供・紹介する相談窓口を設置する」の割合が最も高く、それぞれ57.6%、50.0%、42.3%となっております。

図表 2-4-17. 期待される江別市の取組（性別年代別）  
（N=787、単位:%、複数回答）

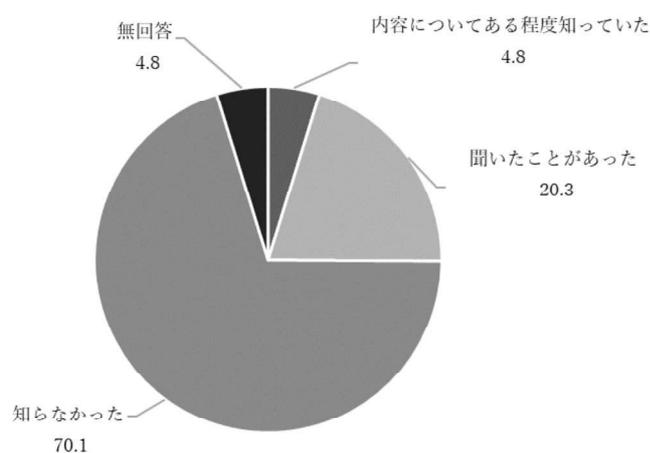


## 2.5 江別市の生涯活躍のまちづくりについて

### (1) 「江別市生涯活躍のまち整備事業」に対する認知度

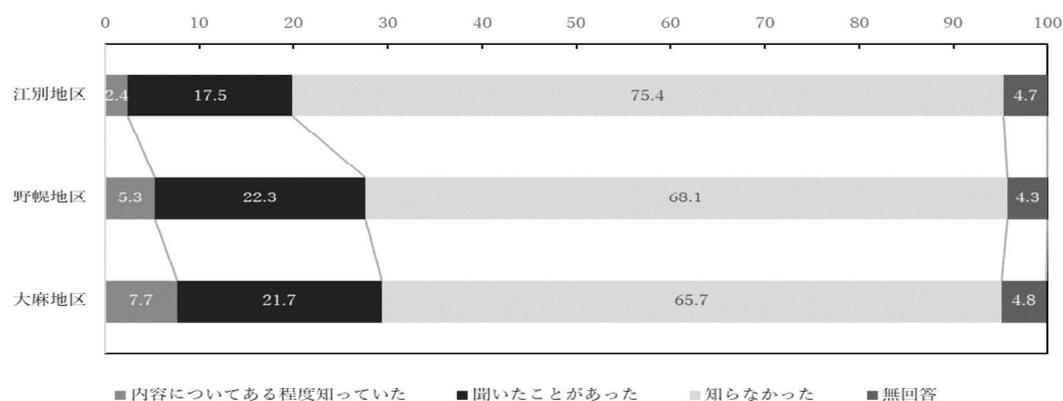
「江別市生涯活躍のまち整備事業」に関する認知度については、「知らなかった」の割合が70.1%と最も高く、次いで「聞いたことがあった」が20.3%、「内容についてある程度知っていた」が4.8%となっています。

図表 2-5-1 「江別市生涯活躍のまち整備事業」への認知度 (N=790、単位:%)



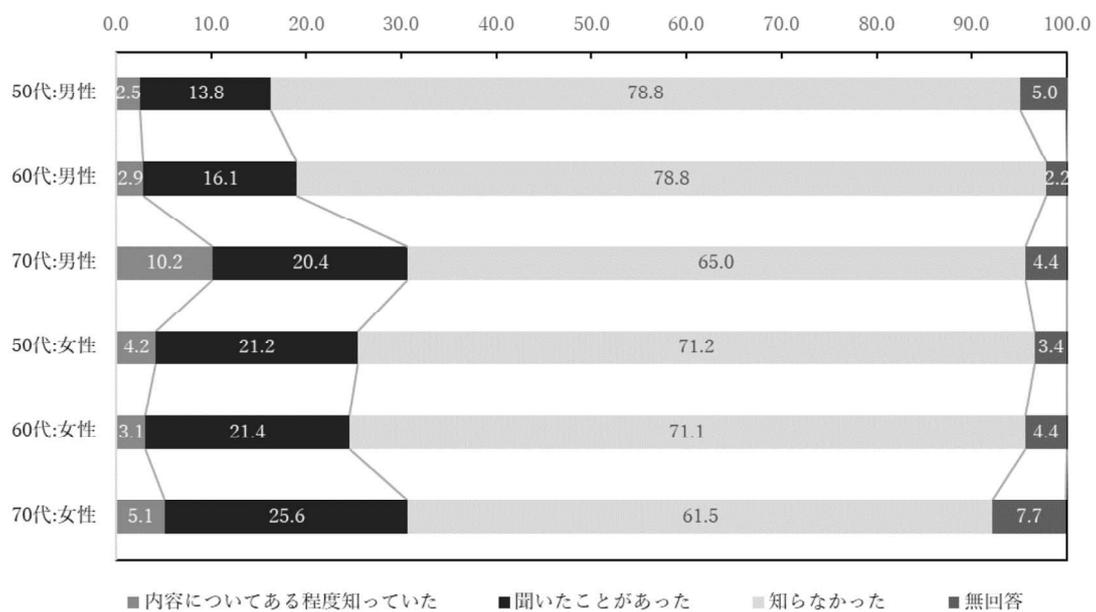
「江別市生涯活躍のまち整備事業」に関する認知度について居住地区別にみると、「大麻地区」では、「内容についてある程度知っていた」の割合が7.7%となっており、「内容についてある程度知っていた」と「聞いたことがあった」の割合が合わせて29.4%となっており、他の地区と比べて高くなっています。

図表 2-5-2 「江別市生涯活躍のまち整備事業」への認知度 (居住地区別)  
(N=786、単位:%)



「江別市生涯活躍のまち整備事業」に関する認知度について性別年代別にみると、「70代:男性」では、「内容についてある程度知っていた」の割合が10.2%となっており、他の性別年代層と比べて高くなっています。「70代:女性」では、「聞いたことがあった」の割合が25.6%となっており、他の性別年代層と比べて高くなっています。「50代:男性」と「60代:男性」では、「知らなかった」の割合がともに78.8%となっており、他の性別年代層と比べて高くなっています。

図表 2-5-3 「江別市生涯活躍のまち整備事業」への認知度（性別年代別）  
 (N=787、単位:%)



〔自由回答〕

番号	地区	性別	年齢	内容
1	江別	男	63	高齢者向け（65～70才以上）のスポーツやトレーニング施設を改善し、高齢者向けの健康維持や身体機能維持に役立つ取り組みが欲しい。医療費を削減させるような取組を望む。
2	江別	男	68	自分自身何ができるのか、受け皿はあるのか、私も、みんなも知らない。たまたまの御縁でボランティアに関わっているが、たいていは素通り、そこに責任がないと、無関心になります。大切なのは人と人とのつながりなんだと思います。広報も字が多すぎてパラパラとしか見ません。もったいないです。
3	江別	女	54	他の同規模の市町村と比べ、特色がない。江別市に遊びに行くとしたらとたずねられても答えられない。
4	江別	女	66	そんなに欲ばって何が出来るだろう？老後の支援、若者の支援、きちんと把握、分析出来ているのだろうか？NPOだの国からの支援を得てわけのわからない施設のなんと多いことか？！
5	江別	女	79	今後、益々の発展を望みます。
6	江別	男	68	豊幌はバス路線がないので年齢が高くなり免許を返納すると活動する足が無くなる。
7	江別	男	63	A型事業所の数が少ない（最低でもあと4～5軒ぐらい）。
8	江別	女	59	老後各種活動に参加したくても、現在の江別地区のバス路線では運行路線が長いいため特に冬はバスの遅れが予想されるため、活動のために外出する気持ちがなくなってしまう。コンパクトな運航路線と路線の乗り継ぎが出来るようにしてもらいたい。
9	江別	男	63	江別市は年間3分の1は雪と向い合う生活状況であります。生涯活躍においてネックになる部分は、多分にあるかと思われれます。除雪の頻度、仕方（出られない雑な作業）生涯活躍の前に環境整備は大切と思われる。又、毎日のように消防、救急、パトカーのサイレンもあり、新聞を見てもどこで何があったのか判らず、安心した生涯活躍に不安を感じずと思うのは考えすぎだろうか？せっかく新聞という媒体があるのに寄付金への感謝状授与ばかりではなく生活安心の観点からも、どこで何があったのかを発信してもらいたい。生涯活躍の推進も大切であるが環境整備、マスコミも活用した情報提供等の基盤作りが先だと思われる。6年ほど前に江別に来ました。ステキな街ですね！！
10	江別	男	52	○豊幌にスーパー等の店を作ってほしい。 ○豊幌に高速のスマートICを作ってほしい。
11	江別	男	54	個別への案内、情報発進の工夫。
12	江別	男	72	「江別市生涯活躍のまち整備事業」に関する説明会（市及び事業者）に2回参加して、内容についてある程度知りました。入居条件や自身の収入等勘案すると断念せざるを得ず、引続き江別市内に住み続ける為には、高齢者が一人でも生活していける施策を行政として取組んでいただきたい。

13	江別	女	74	⑱-5のような交流ができるホールのような場所をつくり、自由に話し合いができるような所があればと思います。軽食など楽しみながら、そこに行けば誰でも話し合える自由な雰囲気のある「話し合いルーム」としての場所。
14	江別	男	67	上記事業に非常に興味があります。
15	江別	女	56	新規事業に対しては、ある程度の期待はありますが江別市民はもとより市外の方々からも来てもらえる様な地区になる様願っています。
16	江別	女	61	「年をとって税金を払わなくなったら高額な医療費などを使わずにさっさと死んでください」などと言われない市立病院を望みます。※比喻ではありません。救急で運ばれた母が担当医に言われた言葉です。こんな医師がいる市立病院をもつ所に好んで住みたいと思いますか？
17	江別	男	61	いろいろな団体があるのに、それを知るすべがない。
18	江別	女	65	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険の金を下げる。</li> <li>・税金を下げる。</li> <li>・高齢者はパソコンは半分以上使用できません</li> <li>・年金を下げるな</li> <li>・これ以上駅を作ったりせず、借金を江別市で作るな</li> </ul>
19	江別	男	59	①土地区画と上下水道整備を行ってほしい。 1) 将来的に人口減少で空家が多くなり、空土地の利用を他地方から迎え入れる為に土地活用を促進するのに、上下水道の未開発地を見直してほしいです。
20	江別	女	56	理想だけで終わらずに、みんながそれぞれの事を思いやりながら、優しい気持ちでいられるような街づくりにして下さい。盲学校跡地が、どのような形で変わっていくのか…と想像していたので大切に、ステキな街ができる事を期待しています。頑張ってくださいね。
21	江別	女	53	高齢者だけではなく、若者や子育て世代が、暮らしやすい街づくりをしてほしい。自治会は、高齢者による高齢者のための集まりで若者や子育て世代が参加しにくい、参加してもライフスタイルや志向が違うため、違和感がある。
22	江別	女	68	私の周辺にも高齢の方が多くなってきました。仕事をしている方、リタイヤされている方、様々ですが、私もまだ働いているので日々忙しく暮らしています。そんな中でよく耳にするのが（私はよくわからないのですが）他の市では70才を過ぎると地下鉄などの料金が無料になるのに江別市はないということですが、そうでしょうか。違ったらすみません。年金のみで生活になると動いて活動したりイベントに参加したりするために多少なりとも交通費が負担となるのかなと想像したりしています。豊かな老後は決してお金だけとは思えませんが参考意見まで。
23	江別	女	64	いつでも誰でも行けて、自由に過せる空間。月寒に新しくできたマックスバリュ-2Fにあるような場所がほしいです。
24	江別	男	73	自治会に入っていないのでそういう情報が入りづらいのかも。

25	江別	女	75	高層ビル、建物が少なく空気が良い所が気に入っている。これ以上増えないこと望む。只、江別駅だけが何かしら簡素すぎ…もう少し人が集い明るいイメージで車の送迎出来るスペース又駐車スペースがあると利用者も増えるのではと思う。地盤が軟弱な所が多いので道路を良くして欲しい。水道代が高すぎる！！市の区分に固有名詞が多い（例.松並町、高砂町）もっと解りやすい方が望ましい町が基盤に面してるので。
26	江別	女	58	高齢者、障がい者だけでなく、若者が、安心しさらに意欲と希望をもって生活できるまち作りを期待します。
27	江別	男	50	上記⑱の3で、就労先が民間企業とした場合、誰が給与を負担するのか。⑱3を選ぶ理由として年金支給開始年齢の引き上げ等が考えられるが、必然的に⑱3に至る人口が増えると推察する。又、ハローワークとの違いについてもあいまいと思われる。
28	江別	女	67	生涯活躍のまちづくり～聞こえはとてもよいのですが…どんどん高齢者が多くなっていくこのごろ。自分にもどんなことができるか、このアンケート記入を契機として考えてみます。
29	江別	女	51	江別は老人（又は老人予備軍）がとても多い街だと思いますが、交通の便が悪い場所も多く、足の不自由だったりするお年寄は最寄りの駅やバス停迄も歩くのが億劫で、自家用車を運転できるか、できる家族がいる方がいないと家やその周辺から出歩く事が少ない人も多いのでは？（我が家の老母も駅までの7～8分を歩くのも足が悪い為、車を出さないと出かけるのを億劫がります。）そうして歩かないでいるうちに足が弱って転び、寝たきりになったり歩行困難になる老人が減るような「何か」アイディアも必要ではないでしょうか？
30	江別	男	72	高齢者の地域活動参加等の支障となっている一因として、交通手段の問題があります。札幌市で現在実施している70才以上の市民に対するバス、電車の補助制度を当市でも是非採用して頂きたいと思います。
31	江別	女	61	何か行動をする場合、移動手段がないと中々行動できない。あとインターネットを使えないと色々な情報を取得することがむずかしい。短時間の仕事については出来る事を少しという点で良いと思う。そんな機会があれば参加してもよいと思う。
32	江別	女	72	構想としてはすばらしい事だと思います。元気な内は活動の場も広がられますが、年齢的に移動手段もなくなってくると出掛ける事が不便になってきます。せめて町内会の活動くらいしか参加、協力出来ない状況です。お元気な方々の活躍を期待します。
33	江別	男	64	実現に向けてのご努力に期待します。
34	江別	女	76	どこへ行くにも交通手段が問題。運転免許はもうそろそろ返納しようと思っているので、そうなる、どこへも行く事が大変になる。今でも交通手段がなくてあきらめている事が多いのです。
35	江別	男	62	市立病院も含め、市内の総合病院等で、医療従事者による健康セミナー等の実施、広報

36	江別	女	59	江別市を活性化させる為に町おこしをするものが薄い！古かぶの議員さんだけでは成り立たない！もっと若人の意見を取り入れ、江別市独自の産物や、良さをアピール出来るものを興していかなければならないと思う。やきもの市は年齢層が高い趣味であり、若い人が目を向けるイベントが少なすぎるのでは！？利便的には札幌市のとなり町と言うだけで、良い所を捜すにはむずかしい町だと思う。今年、江別花火、3回目！これだけは活性化につながるイベントとして良いと思います。ガンバレ江別市！！
37	江別	女	66	私の住んでいる地域からだ、乗り物に乗って利用するとなると、年を取り収入を減り大麻という立地条件にもより利用しづらいと思う。交通の便もあまり良くないみたいで、そんなのにお金をかけるくらいなら市民の生活の為に市立病院の運営を役目をはたしていないと思います。内科は名ばかり壊滅状態で、私も他の市内の個人病院にまわされました。納得いくもいかないも関係なくモデル地区にお金をかけるくらいならもう少し生きたお金を使ってほしいです。
38	江別	女	70	私は雪かきが大変で7月22日に札幌のマンションに引っ越しました。それは雪の心配がないからです。25年江別に住み、雪の心配や雑草の心配がなければお店も近かったし、良かったのですが病院も心配、バスの便もだんだん減り、お年寄には住みにくい町になっています。車庫前の固い雪は福祉の除雪を頼んでいるのに、玄関前は歩道の固い雪をおいていかれもう限界でした。
39	江別	女	59	上江別地区に「地区センター」等の施設がほとんどないので建設してほしい。市民が就労も交流も同時にできる場となります。
40	江別	女	72	多世代が江別市に住んで良かったと思えるまちにしたいと思います。
41	江別	男	88	1級の身体障害者なので色々な事に参加したくてもできません。
42	江別	女	77	バス便がわるいです。
43	江別	男	68	大いにやってほしい。
44	江別	女	66	移動するのに、車が無く、バスでの行動では、時間が限られているし、冬は雪投げで大変な為、気持ちはあっても活躍できない。
45	江別	女	55	広報だけでなく、もっとアピールが必要だと思います。(ネット等になってしまうかもしれませんが…)ですが高齢者はネット等は苦手だと思いますのでスマホの教室や、それ以外の方法を考えていかなければと思います。が、考えつきません。申し訳ありません。
46	江別	女	67	今迄あまり関心ありませんでした。でもこのアンケートが来たので、少し考えてみなければと思いました。江別市にできることは協力(わずかでも)したいと思いました。
47	江別	女	63	一人暮らしでも、元気な人が、入れる有料老人ホームが少ないと思う。
48	江別	女	65	大人だけではなく、小学生からの意見・考えを発信してもらい、老若男女の多岐の声を集める場を設けてほしい。学校にも協力してもらい大切な子供達の考えや声をすくいあげてほしいです。